

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
【東亜連盟運動】									
一、東亜連盟									
1. 内部									
1		満州国協和会東京事務開設記念写真			1枚	記念写真。		写真	裏面「満州国協和会東京事務開設記念」「東条将軍、石原莞爾将軍」等の名あり、アルバムから剥した跡あり。山口重次『満州建国の歴史』（栄光出版 1973年）に同一写真が掲載されるが、人名は一部が一致するに留まる。
2		同志会庄内支部			1冊(28項)			手書謄写	裏表紙に「山口巖」とペン書き込みあり。末尾に、「庄内支部運動要領」「昭和十九年度庄内支部運動方針」「昭和二十一年度運動方針 同志会庄内支部」あり。
3		昭和維新方略		昭和13年9月1日	1冊(6枚)			タイプ謄写	1頁目に「秘」とあり。全体に原稿指定の書き込みあり、印刷物の草稿と見られる。タイトル下に「論 宮崎正義 満鉄マン 白柳秀湖」とあり
4		第一 盛り上げる力の貴き所以			1冊(52頁)			手書謄写	53頁以後欠落。第二次近衛内閣期以降のもの。「第一、盛り上げる力の貴き所以 第二、民間政治力は国の宝 第三、政職分離の必要 第四、政治を忌避するものは最低級国民 第五、国を動かす力は、之れ政治力」以下第十まであり。
5		工作員会議		3月27日	1枚	富山市における工作員会議の通知		手書謄写	富山市における工作員会議の通知。
6		地区協議会議案			1枚			手書謄写	
7		同志会支部一覧表		昭和24年4月	3枚			手書謄写	「鈴木先生」「井上」などペン書き込みあり
8		アドレス帳			2枚			手書	東久邇稔彦 緒方竹虎 佐野学 木村武雄等28人の住所・電話番号の記載
9		昭和五十六年八月三十日 石原将軍三十三回忌参列者名簿 県内		昭和56年8月30日	1冊(18頁)			手書(電子式複写)	
2. 講習会									
10		第7回東北地区婦人部講習会日程表			1枚			ペン	
11		第3回婦人部講習会記録(1)			1枚			ペン	講師・字野千津。

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
12		第3回婦人部講習会記録(2)			3枚			ペン	11の続きと思われる
13		講習会日程表			1枚			ペン	講習会の日程と思われる
14		第一分隊人名簿			1枚	庄内、山形等の支部の12名の氏名・住所		鉛筆	庄内、山形等の支部の12名の氏名・住所
15		第二分隊炊事当番表			1枚	献立表		鉛筆	献立表
16		協議決議事項			1枚			ペン	
17		本講習会の目的			1枚			ペン	
18		酵素の話			1枚			ペン	
19		新らしき道義確立へ			1枚			ペン	18の続きと推定される
3. 複写史料									
20		主要ナル新聞記事差止事項調 主要ナル外務省令示達事項調 [...]							
	1	主要ナル新聞記事差止事項調 主要ナル外務省令示達事項調	内務省検閲課	昭和16年1月	1冊(9枚)		封筒 1点 裏面に「石原莞爾全集刊行会 代表者 白土菊枝 (住所 電話番号)」とあり	タイプ(電子式複写)	以下1冊にホチキス止め。上部に鉛筆で「一-A」「9枚」と記される。5頁目に「一頁欠か? 府の一字が欠落で、一頁欠ではない。」とペン書きされた付箋がはさまれる(「支那事変の新段階と国民の覚悟」9枚目に該当)。浅沼稻次郎関係文書306に原本あり。
	2	支那事変の新段階と国民の覚悟	大政翼賛会 東亜部	昭和16年1月	(10枚)			タイプ(電子式複写)	表紙に鉛筆で「一-B」「10枚B」と記される。9枚目末尾に「府」の書き込みあり。浅沼稻次郎関係文書300に原本あり。
	3	東亜共栄圏建設の基本観念			(13枚)			タイプ(電子式複写)	表紙に鉛筆で「一-C」「13枚」「C」と書き込みあり。本文の写りのあいまいな字はペンで書きおこしてある。浅沼稻次郎関係文書301に原本あり。(ただし未定稿部分はコピーしていない)
21		祝電依頼状 [...]							

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
	1	祝電依頼状	協会	昭和16年1月31日	1冊(1枚)	二月一日、南京中央党部党員訓練所で挙行される中国総会(仮称)の発会式に向けての祝電依頼状(祝電宛先・南京*和路汪公館中国東亜連盟総会)		タイプ(電子式複写)	以下1冊にホチキス止め。鉛筆で「八-A」と書き込みあり。南京中央党部党員訓練所で挙行予定の中国総会(仮称)発会式に向けた祝電依頼状。この一綴は浅沼稻次郎関係文書302に原本あり。
	2	浅沼稻次郎宛中華協会一行歓迎会出席依頼状	協会	昭和16年2月1日	(2枚)	二月十日、目黒雅叙園で行われる中華協会会長林汝*氏一行二十余名の入京の歓迎会案内状		タイプ(電子式複写)	一枚目右に鉛筆で「八-B 2枚」と書き込みあり。宛名欄に「浅沼稻次郎」と手書き書き込みあり。中華協会会長林氏一行の入京歓迎会案内状
	3	南京遷都一周年記念祝電依頼状	協会	昭和16年2月1日	(1枚)	支部又は中央委員会名義で、南京国民政府汪精衛主席あて祝電を送る旨の依頼状		タイプ(電子式複写)	右上に「八-C」と書き込みあり。支部又は中央委員会名義で、南京国民政府汪精衛主席あての祝電を送る旨の依頼状。
	4	中国同志会成立宣言			(1枚)			活字(電子式複写)	右上に「八-D」と鉛筆書き込みあり。中国語
	5	汪主席訓詞	汪精衛	中華民國29年11月24日(昭和15年11月24日)	(2枚)			活字(電子式複写)	中国語
	6	中国同志会理事名簿			(4枚)		付箋1枚「以下名簿四枚名簿に種々添え書きしてある×○印・メモ等は不要」とあり	手書謄写(電子式複写)	
22		報告第37号	協会	昭和16年2月6日	1冊(12枚)	組織部活動—茨城県支部幹部会/茨城県支部参与員/岩手県支部幹部会/秋田県支部幹部会/山形県支部活動/新潟県支部活動/山梨県支部幹部会/東京支部促進会下谷区班等 広東教育視察団(中華協会—長・林汝*等)来日		タイプ(電子式複写)	「12枚」と書込あり。組織部活動、広東教育視察団来日など。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
23		通牒 [...]							

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
	1	通牒	協会	昭和16年2月10日	1冊(2枚)	中央参与会員 府県支部あて第二回全国支部代表者会議召集状(1月17日協会本部で開催。協議事項一、東亜思想団体統合問題に対する件二、協会組織、強化に関する件)		タイプ(電子式複写)	以下1冊にホチキス止め。右上に「(二)-B、2枚」と書き込みあり。中央参与会員・府県支部あて第二回全国支部代表者会議召集状。この一綴は浅沼稻次郎関係文書302に原本あり。
	2	協会、分会一覧表			(5枚)			タイプ(電子式複写)	1枚目右に「(二)ノA」「9枚」と書き込みあり
	3	協会規約(案)			(4枚)			タイプ(電子式複写)	
24		東京支部会決議事項通知 [...]							
	1	東京支部会決議事項通知	東京支部	昭和16年4月9日	1冊(2枚)	4月8日、報知新聞社講堂で行われた東京支部会の決議事項		手書謄写(電子式複写)	以下1冊にホチキス止め。「五-A」「2枚」と書き込みあり。東京支部会の決議事項。浅沼稻次郎関係文書302に原本あり。
	2	東京支部名簿(挨拶)	重盛久治		(1枚)			手書謄写(電子式複写)	「29枚」と書込あり。浅沼稻次郎関係文書302に原本あり。
	3	東京支部名簿	重盛久治		(28枚)			手書謄写(電子式複写)	浅沼稻次郎関係文書305に原本あり。
25		第一回関東地方事務所常任委員会決定事項のお知らせ [...]							
	1	第一回関東地方事務所常任委員会決定事項のお知らせ	協会 関東地方事務所	昭和16年4月22日	1冊(3枚)	4月21日、本部会議室で開かれた常任委員会の決定事項報告。		タイプ(電子式複写)	以下1冊にホチキス止め。1枚目に「四ノA」「3枚」と鉛筆書き込みあり。常任委員会の決定事項報告。この一綴は浅沼稻次郎関係文書302に原本あり。
	2	浅沼稻次郎宛依頼状	協会関東地方事務所	4月26日	(2枚)	栃木県、長野県、横浜市、神奈川県、千葉県、茨城県、群馬県、山梨県、静岡県、東京府の協会運動前進のため同志たり得る人物の氏名等記入の依頼状。		タイプ(電子式複写)	1枚目に「四-B」「2枚」と書き込みあり。宛名欄に「浅沼稻次郎」と記される。協会運動前進のため、同志たり得る人物の氏名記入の依頼状。
26	報告第38号	/東亜連盟協会	昭和16年2月13日	1冊(9枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	「9枚」と書込あり。広東教育視察団歓迎、在京中央参与会員会議など。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。	

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
27		報告第39号	協会	昭和16年2月20日	1冊(11枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	「11枚」と書込あり。李長江の東亜連盟運動共鳴、第二回全国代表者会議など。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
28		報告第40号	協会	昭和16年2月27日	1冊(8枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	「7枚」と書込あり。中国協会の動向など。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
29		報告第41号	協会	昭和16年3月6日	1冊(14枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	「14枚」と書込あり。林汝*講演会、地方支部の活動状況、在京中華学生懇談会、第三回在京中央参与会員会議など。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
30		報告第42号	協会	昭和16年3月13日	1冊(10枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	「10枚」と書込あり。地方支部の活動状況など。福島支部主催講演会では、新明正道「東亜建設策ノ確立ニ就イテ」、木村武雄「ノ理想」などの講演あり。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
31		報告第43号	協会	昭和16年3月2日	1冊(6枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	「6枚」と書込あり。各地活動状況など。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
32		報告第44号	協会	昭和16年3月29日	1冊(8枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	「8枚」と書込あり。中央参与会員第一回全国会議開催決定、各地活動状況、東京支部役員会、事務連絡会議打合せ事項。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
33		報告第45号	協会	昭和16年4月5日	1冊(7枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	「7枚」と書込あり。中国総会活動、中央参与会員第一回全国会議に石原臨席、各地活動状況、調査部など。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
34		報告第46号	協会	昭和16年4月12日	1冊(16枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	「16枚」と書込あり。中央参与会員第一回全国会議、新運動方針、協会規約の改正内容など。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
35		報告第47号	協会	昭和16年4月19日	1冊(6枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	「6枚」と書込あり。中央参与会員全国会議の決定に基づく東京付近在住中央参与会員の今後、北京中国協会同志朱華・政和両氏来朝、鶴岡に帰った石原莞爾の動向など。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
36		報告第48号	協会	昭和16年4月30日	1冊(9枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	「9枚」と書込あり。東京近辺在住中央参与会員会議、中華協会(広東)からの報告など。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
37		報告第49号	協会	昭和16年5月6日	1冊(4枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	「4枚」と書込あり。東京近辺在住中央参与会員会議、第四回常務理事会会議開催など。石原莞爾の関東・東北巡遊予定あり。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
38		報告第50号	協会	昭和16年5月13日	1冊(14枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	「14枚」と書込あり。東京付近在住中央参与会員会議開催、講習会の講師に石原莞爾ほかと交渉予定、中国における東亜連盟運動の報告 興亜団体統合の問題、石原莞爾東北地方旅程など。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
39		報告第51号	協会	昭和16年5月20日	1冊(13枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	「13枚」と書込あり。第五回東京付近在住中央参与会員会議、朝鮮における運動の報告、日本協会の要望に対する中国総会長汪精衛よりの書簡発表、各地活動状況など。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
40		報告第52号	協会	昭和16年5月28日	1冊(12枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	第六回東京付近在住中央参与会員会議、各地活動状況など。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
41		報告第53号	協会	昭和16年6月3日	1冊(15枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	「15枚」と書込あり。石原の活動状況(上京・講演会)、各地活動状況など。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
42		報告第54号	協会	昭和16年6月11日	1冊(10枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	「10枚」と書込あり。第八回東京付近在住中央参与会員会議、石原の講演状況、東京弁護士会座談会、各地活動状況など。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
43		報告第55号	協会	昭和16年6月19日	1冊(12枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	第九回東京付近中央参与会員会議、各地活動状況、実践部と北京事務所主任との打合せ事項など。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
44		報告第56号	協会	昭和16年6月26日	1冊(8頁)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	汪精衛一行の来京(東亜連盟運動と東亜新秩序建設)、広東学生聯盟本部の挨拶、第十回東京付近在住中央参与会員会議、各地活動状況、「ノ旗仏印二進ム」など
45		報告第57号	協会	昭和16年7月3日	1冊(6枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	「6枚」と書込あり。大日本興亜同盟からの加入要請に対する協議会開催、各地活動状況など。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
46		報告第58号	協会	昭和16年7月10日	1冊(6枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	大日本興亜同盟結成式(東亜連盟も加入)、各地活動状況など。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
47		報告第60号	協会	昭和16年7月24日	1冊(7枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	中国総会発行の「」第一巻第一期出版(出版内など容)、第十三回東京付近在住中央参与会員会議、に關スル諸論説の著書雑誌新聞に掲載されたもの、地方活動状況など
48		報告第61号	協会	昭和16年7月30日	1冊(8枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	第十四回東京付近在住中央参与会員会議、各地活動など。
49		報告第62号	協会	昭和16年8月6日	1冊(7枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	第十四回東京付近在住中央参与会員会議、各地活動など。東北地方事務所の羽黒山夏期講習会では、石原莞爾「概論」、橋樑「東洋民族論ノ立場カラ最終戦論ヲ如何ニ見ルカ」、時子山常三郎「事変ノ発展ヨリ高度国防国家ノ建設へ」、伊東六十次郎「思想戦ヨリ見タル」の講演あり。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
50		報告第63号	協会	昭和16年8月13日	1冊(7枚)	細目は枝番を参照	文書の清書 2枚 1~2頁目の写り悪く、ペン書きで清書した用紙が添付される	タイプ(電子式複写)	中国総会広東分会第一回代表大会、第十六回東京付近中央参与会員会議、各地活動状況など。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり(最終頁はコピーされていない)。
51		報告第64号	協会	昭和16年8月20日	1冊(8枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	中国総会広東分会は「ハノイ」に総支部設置、第十七回東京附近在住中央参与会員会議、各地活動状況など。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
52		報告第65号	協会	昭和16年8月28日	1冊(12枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	第十八回東京附近在住中央参与会員会議、各地活動、中国における活動など。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
53		報告第66号	協会	昭和16年9月4日	1冊(8枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	「8枚」と書込あり。第十九回東京附近在住中央参与会員会議、各地活動状況など。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
54		報告第67号	協会	昭和16年9月11日	1冊(8枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	「8枚」と書込あり。第二十回東京附近在住中央参与会員会議、各地活動状況など。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
55		報告第68号	協会	昭和16年9月19日	1冊(8枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	「8枚」と書込あり。第二十一回東京附近在住中央参与会員会議、各地活動状況など。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
56		報告第69号	協会	昭和16年9月25日	1冊(3枚)	細目は枝番を参照		タイプ(電子式複写)	「3枚」と書込あり。第二十二回東京附近在住中央参与会員会議、各地活動状況など。浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
57		浅沼稻次郎任命書 [...]							
	1	浅沼稻次郎任命書	協会	昭和16年1月30日	1冊(1枚)		目次 1枚 包装紙紙片に鉛筆でA~Hまでのタイトル(内容を概括したもの)を表記	タイプ(電子式複写)	「三-A」「2枚」とあり。この1綴は浅沼稻次郎関係文書304に原本あり。
	2	中央参与会員選任規則			(1枚)			タイプ(電子式複写)	
	3	浅沼稻次郎あて在京中央参与会員協議書	協会	昭和16年2月7日	(1枚)			タイプ(電子式複写)	「三-B」「1枚」とあり
	4	地方組織方針要項	/協会組織部	昭和16年2月20日	(4枚)			タイプ(電子式複写)	「三-C」「4枚」とあり

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
	5	中央参与会員あて中央参与会議第一回全国会議開催通知	協会	昭和16年3月22日	(1枚)			タイプ(電子式複写)	「三-D」「16枚」とあり
	6	中央参与会員第一回全国会議日程通知	協会		(2枚)			タイプ(電子式複写)	
	7	中央参与会員あて中央委員会第一回全国会議についての通知	/東亜連盟協会	昭和16年3月29日	(1枚)			タイプ(電子式複写)	
	8	中央参与会員第一回全国会議議案草案	/東亜連盟協会	4月2日	(12枚)			タイプ(電子式複写)	
	9	浅沼稻次郎あて中央参与会員第一回全国会議通知	/東亜連盟協会	昭和16年4月14日	(1枚)			タイプ(電子式複写)	「三-E」「1枚」とあり
	10	東京近郊中央参与会議開催通知	/東亜連盟協会	昭和16年5月3日	(2枚)			タイプ(電子式複写)	
	11	浅沼稻次郎あて中央参与会員第二回全国会議召集状	協会	昭和16年9月26日	(2枚)			タイプ(電子式複写)	「三-G」「7枚」とあり
	12	支部 中央参与会員 支部役員あて中央参与会員第二回全国会議開催通知	/協会実践部	昭和16年9月27日	(2枚)			タイプ(電子式複写)	
	13	中央参与会員第二回全国会議通知	協会	昭和16年10月1日	(1枚)			タイプ(電子式複写)	
	14	中央参与会員第二回全国会議開催通知	協会		(2枚)			タイプ(電子式複写)	
	15	中央参与会員第二回全国会議内容通知	協会		(2枚)			タイプ(電子式複写)	「三-H」「5枚」とあり
	16	中央参与会員第二回全国会議開催結果通知	協会	昭和16年10月6日	(1枚)			タイプ(電子式複写)	

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
	17	申合			(2枚)	一/近衛声明並に日満華三国共同宣言の趣旨を国民大衆に普く理解徹底せしむること/二/外交(対欧米外交)は政府に一任すること/内政について政府は国民の声を虚心に聞くこと/内交(東亜問題)について日本人は大いに関心を持つべきこと/本協会員は以上の要旨を堅持すべきという主旨の申合内容		タイプ(電子式複写)	「一 近衛声明並に日満華三国共同宣言の趣旨を国民大衆に普く理解徹底せしむること」「二 外交(対欧米外交)は政府に一任すること」など
4. 解散									
58		陳情書・聯合軍總司令官宛陳情書(写)	同志会	昭和21年1月29日・昭和21年2月11日	1綴(14枚)			タイプ謄写	表紙には「同志会マ司令部陳情書」とあり
59		マ司令部に呈出せる前文控	同志会	11日	4枚			ペン	
60		昭和二十年勅令第五百四十二号ポツダム宣言の受諾に伴い発する命令に関する件に基く政党、協会其他国体の結成の禁止等に関する件(勅令第百一号他)			4枚			活字	
61		聯合軍總司令官宛陳情書(写)	同志会	昭和21年2月11日	同一4点(各10枚)		当資料英訳"A Petition" 1綴(18枚)	タイプ謄写	一部ペン書き込みあり。59後半と同じもの
62		淵上辰雄書簡 法務庁特別審査局調査課長・吉橋敏雄宛	淵上辰雄	5月10日	8枚			ペン	
63		陳情書	同志会	昭和21年1月29日	5枚			タイプ謄写	59前半と同じもの

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
64		淵上辰雄宛書類	法務庁特別審査局調査課長・吉橋敏雄	4月20日	3枚			タイプ	4月17日受領の淵上辰雄書簡に対する回答
65		覚書			2枚	木村武雄などの氏名あり		カーボン複写(手書)	木村武雄などの氏名あり。陳情運動関係か。
66		連合国総司令部G.S.ネピア少佐宛陳情書(写)	自給肥糧普及会東部事務局連絡事務所・自給肥糧普及会西部事務局	昭和23年9月24日	同一2点(各2枚)			手書謄写	陳情書写の謄写
67		Scap宛陳情書	Seiju Takagi東亜連盟栃木支部		2枚			タイプ	
68		「1946年聯合軍総司令部宛陳情書」ファイル			1点				中身なし
69		運動綱領私案			7枚	「甲、基本方針一、状況之ヲ許ス時期到来セバ、大命ヲ拝シ(政權ヲ獲得シ)綱領政策ヲ強行シ、以テ昭和維新ヲ完成ス」その他全4項目、「乙、当面ノ運動方針(一)状況判断 一、二、三、(二)状況判断ニ基ク運動方針 A(1)~(6) B(1)~(5) C(1)~(3)」 「丙、臨時対策委員会ノ運動要領 (一)~(八)」 乙(三)A上部に鉛筆書き込み 乙(三)B(4)(b)~(d)、(5)部に×印		ペン	「甲、基本方針」「乙、当面の運動方針」「丙、臨時対策委員会ノ運動要領」など。日本酵素普及会が東亜連盟のダミー団体であることが分かる。
5. 報道									
70		「中山優氏を迎へ」座談会 明日熊本偕行社で	/九州日日新聞社	昭和15年6月10日	1枚			活字	九州日日新聞の切抜。年代は推定。赤鉛筆で「6・10」「九日」の書き込みあり

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
71		「協会 熊本支部を設立 中山教授を迎えて 準備座談会」		昭和15年6月10日	1枚			活字	新聞切抜。年代は推定。赤鉛筆で「九州」「10」の書き込みあり
72		「支部 熊本に設置きのふ準備座談会」	/九州日日新聞社	昭和15年6月14日	1枚			活字	九州日日新聞の切抜。年代は推定。赤鉛筆で「九日」「6・14」の書き込みあり
73		(座談会)「中山優氏を迎えて"新東亜を語る"」	/大阪毎日新聞社	昭和15年6月15日	1枚			活字	大阪毎日新聞の切抜。年代は推定。
74		「興亜大業完遂の根幹 熊本支部発会式」		昭和15年6月24日	同一2点			活字	新聞切抜。年代は推定。赤鉛筆で「6・24」「九州」の書き込みあり
75		「協会 熊本支部結成式 昨日偕行社で挙行」	/九州日日新聞社	昭和15年6月24日	同一2点			活字	九州日日新聞の切抜。年代は推定。赤鉛筆で「6・24」の書き込みあり
76		「東亜諸民族団結して国防国家建設へ 昨夜 熊本支部の講演会」		昭和15年6月27日	1枚			活字	新聞切抜。赤鉛筆で「6・27」「九州」と書き込みあり。付せられた「宣言」末尾から年代推定。以下の新聞記事(46-8を除く)も昭和15年のものと見られる
77		「満農の指導救済は 我国刻下の急務 移民国策は中庸に 座談会 意見一致」		昭和15年6月27日	1枚			活字	新聞切抜。年代は推定。赤鉛筆で「627」「九州」の書き込みあり

6. 刊行物

78		問答	中山優	昭和15年12月28日	1冊(16頁)			活字	非売品。3頁から14頁まで欠如
79		支部設立報告書並二支部会員申合せ事項及心得	/協会庄内支部	昭和16年10月	1冊(19頁)			活字	非売品
80		飛驒支部運動要領に就て	協会飛驒支部/(発行者) 中田與夫	昭和17年6月15日	1冊(88頁)			活字	非売品
81		庄内支部運動要領	/同志会庄内支部	昭和18年3月1日	1冊(48頁)			活字	書き込み及び傍線あり。

7. 定期刊行物

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
82		東亜連盟第5巻第12号	/東亜連盟同志会	昭和18年12月8日	1冊(32頁)	「大東亜の宣言」中山優 「東亜連盟婦人運動に就て」小泉菊枝「鳥取の震災に学ぶ」段塚幸人「庄内支部の進軍」南田米三「青年部交換会」井上義郎・野村圭亮「種苗交換会記」大槻忠夫「津軽支部協議会報告」北郷稔「運動者の在り方」伊地知則彦		活字	中山優「大東亜の宣言」、小泉菊枝「東亜連盟婦人運動に就て」、南田米三「庄内支部の進軍」、井上義郎・野村圭亮「青年部交換会」、北郷稔「津軽支部協議会報告」、伊地知則彦「運動者の在り方」。石原莞爾『庄内支部運動要領』『支那事変解決の根本策』『東亜連盟運動要領解説』『国防政治論』『ナポレオンの対英戦争』などの広告あり
83		東亜連盟第7巻第9号	/東亜連盟同志会	昭和20年9月8日	1冊(22頁)	高沢俊雄「満州建国の理念—石原戦争学の展開—」、川村兵衛「国体政治の顕現—国難打開の方途—」(運動通信)「北から南へ」伴誠—「南から北へ」松山昇(運動への反省)山形 庄内支部、福島 盤陽支部、秋田 北鹿支部、青森 青森支部、福島 会津支部、青森 津軽支部		活字	高沢俊雄「満州建国の理念—石原戦争学の展開—」、川村兵衛「国体政治の顕現—国難打開の方途—」、「運動通信」、「運動への反省」
84		誠心文化 第1巻第4号		昭和21年4月1日	1点(9頁)	「我等の使命」信谷勝雄、「マ司令に於ける『』大阪青年部対談記」岩村博文、「新日本の建設と我が理想」石原莞爾、「誠魂録」君本昌久		手書謄写	信谷勝雄「我等の使命」、岩村博文「マ司令に於ける『』大阪青年部対談記」、石原莞爾「新日本の建設と我が理想」、君本昌久「誠魂録」
二、国民党									
1. 内部									
85		国民党二関スル件			2枚	四国(田中久氏意見)、関西(福島氏)、九州(鷲崎氏)、本部(山崎健太郎氏)		ペン	四国(田中久氏意見)、関西(福島氏)、九州(鷲崎氏)、本部(山崎健太郎氏)の意見
86		東部事務局責任者所在地一覧表			1枚			手書謄写	
87		覚書			2枚			手書謄写	名簿及び雑誌の部数メモカ

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
88		特別情報第1輯 対日講話と再軍備			1点(8頁)			手書謄写	
2. 刊行物									
89		綱領	/国民党		1枚	綱領三項 規約七条		活字	綱領3項 規約7条
90		国民党創立の趣旨	/国民党本部	昭和21年4月28日	1枚			活字	
91		新日本建設大綱	高島弥/高島弥	昭和22年3月25日	1冊(47頁)			活字	非売品。傍線、書き込みあり。
92		国民党創立の趣旨	国民党本部/国民党本部	昭和21年4月28日	1枚			活字	
3. 定期刊行物									
93		全国連絡版第1号	上川祐司編/国民党本部	昭和26年1月25日	1点(4頁)	第8回全国党員大会概況		手書謄写	第8回全国党員大会概況
94		全国連絡版第2号	上川祐司編/国民党本部	昭和26年2月25日	1点(4頁)	第二回中央委員会		手書謄写	第2回中央委員会
95		新国土第2巻第3号	/自給肥糧普及会庄内支部	昭和22年3月1日	1点(4頁)	「国民皆農論」 武田邦太郎		活字	武田邦太郎「国民皆農論」
96		建設第2号	上木隆太郎編/国民党本部(千代田区)	昭和22年7月1日	1点(2頁)	「マルクス主義批判」 山内肇 「我等の経済観」 東谷清次 「全国に亘る強力なる同志組織を」 岩木次郎		活字	タイトル右上に「編輯用」と書きこみあり、若干の計算の書き込みあり。山内肇「マルクス主義批判」、東谷清次「我等の経済観」、岩木次郎「全国に亘る強力なる同志組織を」
97		建設第4号	上木隆太郎編/国民党本部(千代田区)	昭和22年11月1日	1点(2頁)	「『村造り』」 山河健緑 「最近の国際危機と我等の覚悟」 東谷清次		活字	山河健緑「『村造り』」、東谷清次「最近の国際危機と我等の覚悟」。1項に「『我等の世界観』 近日発刊 至急予約乞う」の広告あり
98		国民(あきた)第2号	/国民党秋田支部 発行人・高橋寛次郎	昭和26年3月15日	1点(2頁)	「天皇は武装なき国民の組織で守れ」 「国民党の三大原則」等		手書謄写	「天皇は武装なき国民の組織で守れ」 「国民党の三大原則」等
99		国民つがる第10号付録 政治綱領案	/国民党中弘支部		1点(2頁)	「1、戦争放棄の憲法を死守す」「2、日本の完全独立を要求す」等23項目		手書謄写	「1、戦争放棄の憲法を死守す」「2、日本の完全独立を要求す」等23項目

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
三、協和党									
1. 結党									
100		国民党側新党結成準備ノート		昭和26年	1冊	「東北運動、関西、北陸、四国、九州運動、北海道」「国民党運動二対スル見方」「運動方針」「新党結成準備会」等の記載あり	封筒1点	ペン	作成年は推定。「東北運動、関西、北陸、四国、九州運動、北海道」「国民党運動二対スル見方」「運動方針」「新党結成準備会」等の記載あり
101		スケジュール表			1枚			ペン	4月のスケジュール表
102		新党結成準備の日程		昭和26年6月	1枚	鉛筆によるメモ(日付、人名、議題など)		鉛筆	年代は推定。鉛筆によるメモ(日付、人名、議題など)。6～7月の新党結成準備の日程。
103		六月十一日協議会の杉浦氏私案		昭和26年6月	1枚			ペン	年代は推定。裏面に人名の列挙あり、鉛筆で書き込みあり。新党結成準備に関する議題。「一、国民の政治的関心を如何にして興起するか 一、国民に政治的関心を持たせるポイント(11項目)」など。101に同一内容の記述あり、表題はそれを参考に命名。
104		準備委員会結成関係書類		昭和26年6月	1枚	「一、準備委員会常備スルコト」等五項目		鉛筆	作成年は推定。「一、準備委員会常備スルコト」等五項目。
105		書記局目下の任務		昭和26年7月	1枚	「書記局目下ノ任務」として7項目		鉛筆	作成年は推定。新党結成準備下の「書記局目下ノ任務」として7項目。
106		新党結成要綱(案)		昭和26年7月26日	同一2冊(各7頁)			手書謄写	うち1冊にはペン、赤鉛筆で書き込みあり
107		新党結成要綱(案)		昭和26年8月	1点(4頁)	「同志各位」鎌形浅吉		活字	108、109と同一。鎌形浅吉「同志各位」は、追放解除を機会に再起をはかるため、石原三周忌への出席をよびかける。「新党結成要綱(案)」は、「我等の指導原理と新党結成要綱案」として6項目を挙げたもの。
108		新党結成要項(案)		昭和26年8月	1点(4頁)			活字	107、109と同一、書き込みあり。
109		新党結成要項(案)		昭和26年8月	1点(4頁)			活字	107、108と同一
110		新党結成要綱送付先		昭和26年8月	5枚	1枚目に「新党結成要綱送付先 国民党側」とタイトルあり、以下、48名の姓名と住所が記される		ペン	作成年は推定。1枚目に「新党結成要綱送付先 国民党側」とあり。以下、48名の姓名と住所が記される
111		石原三周忌のお知らせ葉書草稿		昭和26年8月	1枚	石原三周忌法事に関するお知らせ下書き		ペン	右横に「葉書をお願いします」とあり、原稿指定の書き込みあり。石原三周忌法事に関するお知らせ下書き。

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
112		全国協議会議長覚書 (一)		昭和26年8月	1枚			ペン	作成年は推定。鉛筆による書き込みあり。右上に(1)とあり、筆跡、内容から見て、114とつながると思われる
113		全国協議会議長覚書 (二)		昭和26年8月	1枚			ペン	作成年は推定。鉛筆で書き込みあり。113の続きと見られる
114		新党結成準備書類 (一)		昭和26年	1枚	「(1)指導原理ノ再確認(2)宣言(3)主張(4)当面ノ政策(5)結党趣意書 イ、名称 民族協和党 アジア連盟同志会」など		ペン	作成年は推定。鉛筆で書き込みあり。右上に(2)とあり。「(1)指導原理ノ再確認(2)宣言(3)主張(4)当面ノ政策(5)結党趣意書 イ、名称 民族協和党 アジア連盟同志会」など。116につながると思われる
115		新党結成準備書類 (二)		昭和26年	1枚	「(9)臨時党資金 1.目標額 2.月十万ノ経ヒ 内訳 3.抛出方法」など		ペン	作成年は推定。鉛筆書き込みあり。右上に(4)とあり。「(9)臨時党資金 1.目標額 2.月十万ノ経ヒ 内訳 3.抛出方法」など。115の続きと見られる
116		十四日協議会		昭和26年8月	1枚	「1、会次第清書、2、掲示地図、道標 3、受付二関スル準備 4、会場整備二関スル準備」等、8項目について記される		ペン	作成年は推定。8月14日の協議会の運営に関するメモ
117		三周忌		昭和26年8月	1枚	「三周忌」「結党式」に関するメモ		ペン	作成年は推定。8月15日の「三周忌」「結党式」の運営に関するメモ
118		昭和26年8月14日国民党旧全国協議会参加者名簿			1綴(10枚)		ファイル 1点	鉛筆	
119		新党結成会宛佐藤一男書簡	/佐藤一男	昭和26年8月13日	1通	「8月14日出席者の件」回答として7名の姓名を記す		ペン	「8月14日出席者の件」回答として7名の姓名を記す
120		国民党側代表者		昭和26年8月	1枚	各支部毎に23名の姓名が記される		ペン	作成年は推定。各支部毎に計23名の姓名が記される
121		鶴岡地区出席者			1枚	25名の姓名が記され、出席者として、そのうち8名に丸印が付せられている		鉛筆	25名の姓名が記され、出席者として、そのうち8名に丸印が付せられている
122		地区別出席者名簿(1)			1枚			ペン	赤鉛筆で書き込みあり
123		地区別出席者名簿(2)			1枚	地区毎の人名記載あり		ペン	地区毎の人名記載あり。122の続きと見られる。
124		各県別見積もり		昭和26年8月	1枚	「8月15日」と記入後、各県別の数字メモ記入あり		鉛筆	作成年は推定、「8月15日」と記入後、各県別の数字メモの記入あり。

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
125		準備委員会予算及び 新予算		昭和26年	1枚	1、人権費 2、事務所費 3、通信交通費 4、新事務所 設備費 新予算1、人権費 2、事務所費 3、通信費 4、都内交通 5、各地工作 費 6、準備委員会会場費 7、新事務所設置としてそ れぞれ金額記される		ペン	作成年は推定。1、人権費 2、事務所費 3、通信交通費 4、新事務所 設備費 新予算1、人権費 2、事務所費 3、通信費 4、都内交通 5、各 地工作費 6、準備委員会会場費 7、新事務所設置としてそれぞれ金額 記される。126の清書版と見られる。
126		準備委員会予算メモ		昭和26年	1枚	「1、準備委員会予算」と ある傍らに、「人権費」と して男子、女子それぞれ記 されるほかは、計算の書き 込み		ペン	作成年は推定。「1、準備委員会予算」とある傍らに人権費が記され るほかは、計算の書き込み。125の下書と見られる。
127		会計書類(10月～3 月)			1枚	会計簿類		鉛筆	上部に「淵上辰雄」とあり、出張旅費などの支出と未払金の記録
128		費用メモ(接待用・ 汽車賃)			1枚	「接待用(支払書)」「汽車 賃」として、それぞれ金額 の明細記される		ペン	「接待用(支払書)」「汽車賃」として、それぞれ金額の明細が記され る
129		費用メモ(新党結成収 支)			1枚			鉛筆	新党結成に関する収支の見積もり
130		費用メモ(新党結成経 費)			1枚			鉛筆	「7.都内交通ヒ」「8.備品費」など4項目
131		結党準備会経ヒ		昭和26年8月15 日	1枚			ペン	山県新聞広告料、準備会関係印刷物等。作成年は推定。
2. 内部									
132		石原主義講義要領			1枚			手書謄写	一、世界観 二、社会理想 三、理想実現の方向の3項目ごとにそれぞ れ数ヶ条記載される
133		新日本建設大綱改訂 草案		昭和26年3月17 日	12枚			手書謄写	鉛筆書き込みあり
134		情勢判断	鎌形		22枚		ファイル 1点	ペン	講演会の原稿と思われる。執筆者は鎌形浅吉か。
135		「基地サセ木」に感 ず	藤田敏雄		2枚	藤田敏雄		ペン	
136		出納覚書			1枚			ペン	8月から3月までのもの

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
137		党費			2枚			ペン	各支部毎の党費メモ
138		名簿			1枚	名簿類(用箋内3段と欄外に40名の姓名)		ペン	名簿類(用箋内3段と欄外に40名の姓名)、裏面にも人名の書き込みあり
139		組織一覧表		6月8日	1枚	各支部の住所、氏名と「5月分」党費及び維持費が記される		手書謄写	各支部の住所、氏名と「5月分」党費及び維持費を記載。当出版部が山形移転後のため、昭和27年5月以降のものと推測される。
140		地区事務所一覧表＝ 全国区参議院選挙＝		昭和28年4月	1枚			手書謄写	作成年は推定。第三回参議院選挙にあたっての事務連絡など。
141		機関紙を賣ろう	協和党庄内 有志一同	昭和27年5月	1枚	協和党庄内有志一同		手書謄写	党出版部の山形移転と機関紙発行の担当者変更の告知、機関紙中心の運動方式についての意見など
142		機関紙発送先(予約と 発送部数)			7枚	各地区毎に69名の氏名と住所、発送部数が記され、さらに「寄贈」として10名(東京)の住所、氏名が記される(寄贈者の中に木下半治、笠信太郎の名前あり)		ペン	各地区毎に69名の氏名と住所、発送部数が記され、さらに「寄贈」として10名(東京)の住所、氏名が記される(寄贈者の中に木下半治、笠信太郎の名前あり)
143		支部分会拠点			1枚	全国13支部、分会の住所、氏名を記載		ペン	全国13支部、分会の住所、氏名を記載
144		準備会及び拠点			2枚	全国40の準備会及び拠点が記載される		ペン	全国40の準備会及び拠点が記載される
145		組織拠点 個人拠点			2枚	全国22の組織拠点、人名が記載される		ペン	全国22の組織拠点、人名が記載される
3. 大同問題									
146		東亜連盟側意見状			2枚	協和党と東亜連盟の関係について。大同の問題や中共日共に対する方針などをめぐる対立		ペン	和田勤の意見を提示。協和党と東亜連盟の関係、大同の問題や中共日共に対する方針などをめぐる対立など。
147		淵上辰雄宛書簡			1枚			ペン	宛先は推定。後続欠如。所感として「一、和田先生について」「二、新運動について」「三、自主中立論」への意見を述べる。
148		協和党・東亜連盟の 大同に関する覚書(1)		6月2日	1枚	酒田市での和田代表、武田、小松、佐藤、早坂、歌川、小野寺、富樫外3名等による会合記録		ペン	酒田市での和田代表、武田、小松、佐藤、早坂、歌川、小野寺、富樫外3名等による会合記録。会談の内容は大同問題など

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
149		協和党・東亜連盟の大同に関する覚書(2)		6月3日	1枚	秋田市での和田代表、鎌形氏を迎えた懇談会記録		ペン	秋田市での和田代表、鎌形氏を迎えた懇談会記録
150		ある先輩への手紙	杉沼三郎	昭和27年8月27日	2枚(3項)			手書謄写	手紙形式だが宛先不明。新東亜連盟の再軍備に対する立場を、石原主義からの逸脱と批判。
151		淵上辰雄宛書簡		昭和27年8月	1枚			ペン	宛先・作成年は推定。新東連の機関紙の件等。
152		淵上辰雄宛書簡	田中直吉	昭和27年9月3日	1枚	「東連と協和党の関係の解決を図りたい」「9月6日大阪中之島中央公会堂で開かれる関西協議会への出席依頼」等		ペン	「東連と協和党の関係の解決を図りたい」「9月6日大阪中之島中央公会堂で開かれる関西協議会への出席依頼」等
153		東連紙に現れたる論調の批判	鎌形浅吉	昭和27年10月10日	19枚			手書(電子式複写)	二つ折、ホチキス止め。表紙にタイトルと筆者、裏表紙に「本プリントは昭和五十一年四月二十日～二十二日、白土菊枝、みどり、* * 留吉、克枝委員が、新庄訪問の折り、山口巖氏より原稿を借用して記録したものである」と記載あり。傍線書き込みあり
154		協和党西日本ブロック協議会決議	協和党別府支部、東亜連盟大分県本部	昭和29年12月4日	1枚	協和党西日本ブロック協議会		ペン	協和党西日本ブロック協議会の決議。宛先は協和党・東亜連盟同志会・自衛同盟。
155		東連及協和党の合同促進に関する決議	協和党大牟田支部長岩橋熊男	昭和29年12月5日	1枚	九州地区協議会		ペン	九州地区協議会の決議。宛先は東亜連盟同志会・協和党。
156		協和党東日本ブロック会議決議		昭和29年12月11日	1枚	協和党東日本ブロック会議。協和党と東亜連盟同志会との戦争放棄の理想の堅持の根本方針についての意見の一致の確認等。		ペン	協和党東日本ブロック会議の決議。協和党と東亜連盟同志会の戦争放棄の理想について意見一致の確認等。
157		臨時全国協議会		昭和31年8月14日	23枚			ペン	議事録、未完。文中の記述から宛先は淵上、開催年を昭和31年と推定。石原陣営の大同に関する問題
4. 第一全協									
158		昭和26年運動方針書(青森県協議試案)		昭和26年	1点(4頁)	一、対日講和と日本の立場 二、対日講和と国内情勢 三、党の基本的立場とその任ム 四、当面の任ムとその方針	紙片 1枚 本文への追加文を貼付	手書謄写	1項目「淵上様」とあり。「一、対日講和と日本の立場 二、対日講和と国内情勢 三、党の基本的立場とその任ム 四、当面の任ムとその方針」

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
159		運動要領(中弘支部試案)	中弘支部		1枚(2頁)	一、立党の趣旨 二、運動の方針 三、指導原理の発展 四、組織の運営 五、党員の任務		手書謄写	「一、立党の趣旨 二、運動の方針 三、指導原理の発展 四、組織の運営 五、党員の任務」
160		政治綱領(中弘支部試案)	中弘支部		1枚(2頁)	1、戦争放棄の憲法を死守す 2、日本の完全独立を欲求す等、23項目		手書謄写	「1、戦争放棄の憲法を死守す」「2、日本の完全独立を欲求す」等、23項目
161		政治綱領草案(増川喜久男氏試案)	増川喜久男		1枚	1、十年内外に近迫せる最終戦争の人類史に於ける真の意義を国の内外に徹底せよ等17項目		手書謄写	「1、十年内外に近迫せる最終戦争の人類史に於ける真の意義を国の内外に徹底せよ」等17項目
162		(二)増川喜久男氏案	増川喜久男・馬場魁三・中弘支部	昭和26年9月21日	2枚(8頁)			手書謄写	一枚目は19～22項、二枚目は23～26項。(二)のあとは(三)中弘支部修正案、(四)馬場魁三氏案とあって「以上」と日付が記され、完結している
163		大会に対する庄内地区の要望		昭和26年9月	同一2点(各1枚)			手書謄写	昭和24年7月付けの、病床で書かれた石原莞爾のマッカーサーあての手紙文が付せられる
5. 第二中委									
164		中委報第一号		5月13日	1枚	「第二回中央委員会開催通知の件」「協和党規約施行細則案」等		手書謄写	「淵上辰雄殿」とタイトル右上にペン書きあり。鉛筆書き込みあり。「第二回中央委員会開催通知の件」「協和党規約施行細則案」等
165		中委報第1号所載規約施行細則案に対する意見	石原六郎		1枚			手書謄写	
166		第二回中央委員会議事録		昭和27年6月	2枚(4項)			手書謄写	作成年は推定。昭和27年5月31日開催の会議(議長・武田邦太郎)記録。各支部の現状及方針、新東亜連盟の問題、党規約・規約施行細則の審議などついでに記載あり
167		中委資料 その一 選挙法改正案		昭和27年6月	1枚(2項)			手書謄写	作成年は推定。タイトル下「二七・五・三一～六・一 於 山形党事務所」とあり。
6. 第二全協									
168		第二全協代議員			2枚	全国18地区の代議員の姓名が記載される		ペン	全国18地区の代議員の姓名が記載される

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
169		協和党支部人名録			2枚	全国23の支部と人名が記載される		ペン	全国23の支部と人名が記載される
7. 第三中委									
170		中委報第三号 第三回中央委員会開催について	協和党東北事務所	昭和27年7月5日	2枚(3頁)	協和党東北事務所		手書謄写	「淵上様」と書き込みあり
171		第三回中央委員会会場変更について	協和党東北事務所	昭和27年7月9日	1枚	協和党東北事務所		手書謄写	宛名欄に「淵上辰雄」と書き込みあり。「参考」として綱領と主張の記載あり。
172		協和党第三回中央委員会議題		昭和27年7月19日	1枚			手書謄写	作成年は会議の開催が昭和27年7月19～20日から推定
8. 第三全参									
173		第三回全国参与党員会議開催について	協和党中央委員会	昭和27年7月21日	同一2点(各1枚)	協和党中央委員会		手書謄写	1点に「淵上辰雄様」、別の1点に「東京中央事務所」とあり(こちらは右上部破損)。173～175の内容は連続
174		規約施行細則			同一2点(各1枚)			手書謄写	1点は右上部破損。党の構成員、党務の執行、中央委員会、会議など22項。177から、第三回全国参与党員会議での配布史料とわかる。
175		別紙(一)工作員養成会について			同一2点(各1枚)			手書謄写	1点は右上部破損。石原書簡集作成のため、資料提供を求める記載あり。
176		宣言(石原六郎 武田邦太郎両氏共同提案)	石原六郎・武田邦太郎・小野元士		2枚(8頁)	二つ折り2枚8頁分のうち3頁に「宣言」、4頁分に「規約及び同施行細則」(小野元士氏試案)		手書謄写	「宣言」「規約及び同施行細則」
177		協和党規約施行細則			1枚(2項)	党の構成員、党務の執行、中央委員会、会議等23項目		手書謄写	党の構成員、党務の執行、中央委員会、会議等23項目
9. 第四全参以降									
178		第四回全国参与党員会議開催について		昭和28年1月9日	1枚	協和党代表中央委員武田邦太郎から支部責任者あての依頼書		手書謄写	「庄内第一支部殿」「中央委員淵上辰雄殿」と書き込みあり。協和党代表中央委員武田邦太郎から支部責任者あての依頼書
179		協和党規約		昭和29年2月	1枚			手書謄写	180と同じ。作成年は推定。規約7ヶ条の記載あり
180		協和党規約		昭和29年2月	1枚	7ヶ条の規約の記載あり		手書謄写	179と同じ。作成年は推定。規約7ヶ条の記載あり
10. 刊行物									

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
181		全国民に訴う	/協和党青森県協議会	昭和26年8月25日	5枚(9頁)	「われらの理想」「われらの主張」「われらの方策」「われらの運動」		手書謄写	裏表紙「追記」あり、ペンで「淵上辰雄」とあり。「われらの理想」「われらの主張」「われらの方策」「われらの運動」
182		全国民に訴う	協和党/協和党中央事務局	昭和26年11月12日	1冊(12頁)			活字	第4版
183		全農民に訴うー理想農村国家の建設ー	協和党/協和党中央事務局	昭和26年11月12日	1冊(22頁)			活字	
184		吉田首相に対し食糧自給に関する勧告書	協和党	昭和27年3月	1冊(13頁)			活字	扉に昭和27年3月付けで「内閣総理大臣吉田茂殿」あて協和党代表中央委員・武田邦太郎の文章あり
185		独立、平和運動の提唱	協和党/協和党中央事務局	昭和27年3月3日	1冊(30頁)			活字	
186		各政党の再軍備論批判	田村真作/協和党中央事務局		1冊(22頁)	「再軍備と既成政党」「われ等はかく主張する」		活字	「再軍備と既成政党」「われ等はかく主張する」。付録として「わが党の主張」
187		昭和革新論 最終革命への道	協和党出版部	昭和31年12月10日	1冊(88頁)			活字	傍線、書き込みあり
188		協和会運動要領			1点(4頁)			活字	冒頭に協和会の宣言あり
11. 定期刊行物									
189		協和党党報第1号「勝利への出発 協和党結党す」	/協和党中央事務局	昭和26年8月	1点(4頁)	「勝利への出発 協和党結党す」		活字	作成年は推定。「勝利への出発 協和党結党す」、「石原將軍墓前に協和党結党式挙行」、「党の七大主張(案)」との記事あり
190		協和党党報第2号「第一回全国党大会報告」	/協和党中央事務局(杉並区)	昭和26年10月10日	1点(4頁)			手書謄写	「第一回全国党大会報告」「決議文」などの記事あり
191		協和党第1号「人類の運命は今後十年にして決る」	/協和党中央事務局	昭和26年9月25日	1点(2項)	「経済自立の基礎 食糧自給はこうすれば絶対に出来る」党代表中央委員・武田邦太郎「なぜわれわれは勝利を確信するか」田村真作		活字	武田邦太郎「経済自立の基礎 食糧自給はこうすれば絶対に出来る」、田村真作「なぜわれわれは勝利を確信するか」。1面タイトル「日本を救う唯一の政党 世界平和の道開く政党 協和党の旗進む」「わが党の主張」の記載あり。2面に「新日本建設大綱」「われらの世界観」「全国民に訴う」などの広告あり

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
192		協和党第2号「政権獲得への橋頭堡は確立した」	/協和党中央事務局	昭和26年11月10日	1点(4頁)	「政権獲得への橋頭堡は確立した」(第一回全国党大会報告記録特輯)		活字	「政権獲得への橋頭堡は確立した」(第一回全国党大会報告記録特輯)、「食糧は自給できる!新日本建設は食糧の自給から」「昭和二十六年度運動方針書草案」などの記事あり
193		協和党第3号「日本の真の安全保障の道」	/協和党中央事務局	昭和26年12月30日	1点(4頁)	「協和党と共産党」武田邦太郎「東北行脚の記」武田「ドイツに抬頭する第三勢力」青森原子		活字	武田邦太郎「協和党と共産党」、武田「東北行脚の記」、青森原子「ドイツに抬頭する第三勢力」。書籍『新日本建設大綱』などの紹介あり
194		協和党第4・5合併号「建設の根本 食糧の自給」	/協和党中央事務局	昭和27年2月20日	1点(6頁)	「われらの誓願 独立平和運動の提唱」武田邦太郎		活字	武田邦太郎「われらの誓願 独立平和運動の提唱」、1面に広告「山口重次著 悲劇の将軍 石原莞爾 世界社」、6面に石原將軍遺著保存計画の広告あり
195		協和党報 第1号「宿命の日、八月十五日」	/協和党東北事務所	昭和27年5月20日	1点(8頁)	「協和党にささぐ」曾萬栄「前進と反省」武田邦太郎	ファイル 1点	手書謄写	石原遺著の出版計画の記事あり。曾萬栄「協和党にささぐ」、武田邦太郎「前進と反省」
196		協和党報 第2号「東京進出の戦術について」	/協和党東北事務所	昭和27年6月15日	1点(8頁)	「勝利への進撃」武田邦太郎「再軍備のもう一つの理由」三隅田義也		手書謄写	武田邦太郎「勝利への進撃」、三隅田義也「再軍備のもう一つの理由」
197		協和党報 第3号「第二回東京進出と全参会議について」	/協和党東北事務所	昭和27年7月10日	1点(8頁)	「"一党員の声"に答えて」武田邦太郎		手書謄写	原子昭三「一党員の声」、武田邦太郎「"一党員の声"に答えて」
198		協和党報 第5号「三ヶ年政権獲得案の樹立」	/協和党東北事務所	昭和27年8月20日	1点(15頁)			手書謄写	第三全参特集号
199		協和党報 第14号「第7回中央委員会報告」[...]							
	1	協和党報 第14号「第7回中央委員会報告」	/協和党東北事務所	昭和28年5月12日	1点(16頁)			手書謄写	参議院選挙の反省など
	2	中央選挙管理委員会提出の会計報告書			1点(2頁)			手書謄写	
	3	党報速報「戦争放棄の憲法を守り抜こう」		12月20日	1点(3頁)			手書謄写	
4	党報速報「憲法擁護を勝ちとろう」	/協和党中央事務局	1月9日	1点(2頁)			手書謄写		

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
	5	速報4「科挙戦を戦いとうろろ」			1点(4頁)			手書謄写	
	6	4月28日通報「各地選挙事務所並びに各地支部責任者へ」			1点(2頁)			手書謄写	選挙結果に対する感想と批判
	7	協和党報15号「第8回中央委員会報告」	/協和党東北事務所	昭和28年6月12日	1点(10頁)			手書謄写	
	8	協和党報16号「15号党報に対する各支部の意見」	/協和党東北事務所	昭和28年7月	1点(12頁)			手書謄写	作成年は推定
	9	協和党報18号「世界観への感激と新しい前進に燃えて」	/協和党中央事務所	昭和28年8月	1点(16頁)			手書謄写	作成年は推定
	10	協和党報19号「空前の凶作 党勢拡大の好機」	/協和党中央事務所	昭和28年10月10日	1点(16頁)			手書謄写	表紙「淵上氏」とあり
	11	協和党規約解説			1点(13頁)			手書謄写	六全参資料
	12	協和党報20号「われらの情勢分析」	協和党出版部	昭和29年1月20日	1点(13頁)	「現在および将来における日本の国防」石原莞爾		活字	石原莞爾「現在および将来における日本の国防」
	13	協和党報21号「第6回全国参与党員会議議事録」	協和党出版部	昭和29年2月20日	1点(22頁)			活字	
	14	協和党報22号「再軍備憲法ができたならどうするか」	協和党出版部	昭和29年3月20日	1点(16頁)	「認証は聖断にあらざる最終戦争史観の下に戦え」鈴木文平「自衛中立論の誤りをつく」遠藤長保「現在および将来における日本の国防」(二)石原莞爾		活字	鈴木文平「認証は聖断にあらざる最終戦争史観の下に戦え」、遠藤長保「自衛中立論の誤りをつく」、石原莞爾「現在および将来における日本の国防(二)」
	15	協和党報23号「参与党員代表者会議議事録」	協和党出版部	昭和29年5月10日	1点(16頁)	「天皇の問題について」原子昭三「現在および将来における日本の国防」(三)石原莞爾		活字	原子昭三「天皇の問題について」、石原莞爾「現在および将来における日本の国防(三)」

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
	16	協和党報25号「第十三回中央委員会議事録」	協和党出版部	昭和29年7月10日	1点(17頁)	「町村合併を推進しよう」原子昭三「第十六師団北滿移駐の構想」石原莞爾		活字	201と同一。原子昭三「町村合併を推進しよう」、石原莞爾「第十六師団北滿移駐の構想」
200		協和党報24号「町村合併にたいする党の態度」	協和党出版部	昭和29年6月10日	1点(17頁)	「『天皇の問題』を検討する」林虎雄「中国と朝鮮の青年に」石原莞爾		活字	林虎雄・広安春三「『天皇の問題』を検討する」、斎藤正一「のろし論」、石原莞爾「中国と朝鮮の青年に」
201		協和党報25号「第十三回中央委員会議事録」	協和党出版部	昭和29年7月10日	1点(17頁)	「町村合併を推進しよう」原子昭三「第十六師団北滿移駐の構想」石原莞爾		活字	199-16と同一。原子昭三「町村合併を推進しよう」、石原莞爾「第十六師団北滿移駐の構想」
202		協和党報26号「第十四回中央委員会議事録」	協和党出版部	昭和29年8月10日	1点(24頁)	「政治団体への進展」石原莞爾		活字	石原莞爾「政治団体への進展」(天ノ橋立で開かれた講習会の講義案)
203		協和党報27号「われらの情勢判断」	協和党出版部	昭和29年9月10日	1点(24頁)	「第十六師団北滿移駐の構想(二)」石原莞爾		活字	石原莞爾「第十六師団北滿移駐の構想(二)」
204		協和党報28号「七全総の反省」	協和党出版部	昭和29年10月10日	1点(18頁)	「第十六師団北滿移駐の構想(三)」石原莞爾		活字	石原莞爾「第十六師団北滿移駐の構想(三)」
205		協和党報29号「全国一巡の教訓」	協和党出版部	昭和29年11月10日	1点(16頁)	「遊佐町長選挙をかえりみて」斎藤正雄「第十六師団北滿移駐の構想(四)」石原莞爾		活字	斎藤正雄「遊佐町長選挙をかえりみて」、石原莞爾「第十六師団北滿移駐の構想(四)」
206		協和党報30号「二つのブロック会議に期待する」	協和党出版部	昭和29年12月10日	1点(18頁)	「地方選挙をいかに闘うか」大場信夫・唐沢忠		活字	大場信夫・唐沢忠「地方選挙をいかに闘うか」
207		協和党報31号「合同問題の進展」	協和党出版部	昭和30年2月10日	1点(16頁)	「地方選挙の準備と戦術について」唐沢忠「世界戦争観(一)」石原莞爾		活字	唐沢忠「地方選挙の準備と戦術について」、石原莞爾「世界戦争観(一)」
208		協和党報32号「情勢判断の修正」	協和党出版部	昭和30年3月20日	1点(18頁)	「組織運動にたいする私見」田村鋼作		活字	表紙「淵上辰雄様」とあり。田村鋼作「組織運動にたいする私見」。
209		協和党報33号「庄内支部運動要領」	協和党出版部	昭和30年6月10日	1点(18頁)	「なぜ敗れたか、山形市議選」武田秀雄		活字	武田秀雄「なぜ敗れたか、山形市議選」。石原莞爾「庄内支部運動要領」は昭和18年1月18日付のもの
210		協和党報34号「庄内支部運動要領説明2」	協和党出版部	昭和30年8月10日	1点(16頁)	「九全参のために」高知支部「遊佐町選の反省」斎藤正男		活字	高知支部「九全参のために」、斎藤正男「遊佐町選の反省」

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
211		のろし第7号「悲願 は同じ民族協和の黎明 わが党からネール 首相へメッセージ」	協和党出版 部	昭和27年7月1日	1点(2頁)	1面に「石原莞爾のこと ば」欄、2面に「石原主義 の研究」欄として「『石原 主義』の呼称は妥当だ」 (佐藤清二)		活字	「石原莞爾のことば」、「石原主義の研究 佐藤清二『石原主義』の 呼称は妥当だ、泉川登「書評 山口重次『悲劇の将軍 石原莞爾』」。 協和党出版物や党指導原理書の広告あり。
212		のろし第8号「政局 は混迷へ 協和党は勝利 へ！」	協和党出版 部	昭和27年7月15 日	1点(2頁)	1面に「主張『北鮮系朝鮮 人』とは何か」武田邦太郎 (二七・七・四)、「石原莞 爾のことば」欄、「『協 和』の正統を貫く」新潟 県・渡辺久衛あり。2面の 「石原主義の研究」欄に 「最終戦論の生れるまで 日 露戦争への疑惑から出発 ナ ポレオンの戦史に示唆を汲 む」「兄莞爾の幼少年時代 (2)いしはらろくろう」あ り		活字	武田邦太郎「主張『北鮮系朝鮮人』とは何か」、「石原莞爾のこと ば」、「石原主義の研究 最終戦論の生れるまで」、いしはらろくろ う「兄莞爾の幼少年時代(2)」。協和党出版物や石原莞爾遺著の広告 あり
213		のろし第9号「特集 大思想実証の日は近 づいた 四週忌を前に 偉大な足跡を偲ぶ」	協和党出版 部	昭和27年8月1日	同一2点 (各2頁)	「咲け民族協和の花＝清い 祈りを貰った満州時代＝」 田村鋼作「郷土革新の火ぶ た＝俗流を衝撃した仙台時 代＝軍隊の中で社会主義の 講義」鈴木文平「マルクシ ズム超克の政治運動を念願 ＝情熱をぶちこんだ東亜連 盟＝奮いたて、正統を継ぐ 協和党」石原六郎「未来国 家の理想像＝"世界の平和 基地"西山の建設＝女性を 真に解放するみち」武田邦 太郎「兄莞爾の幼少年時 代」(3)いしはらろくろう 「主張 暴力革命・対・食糧 自給 飢餓はレーニンより威 力があつた」たむら鋼作 「日・米・ソ三国の罪の結 節点 解説・嵐の38度線」 杉沼三郎		活字	田村鋼作「咲け民族協和の花(満洲時代)」、鈴木文平「郷土革新 の火ぶた(連隊長時代)」、石原六郎「マルクシズム超克の政治運 動を念願(東亜連盟)」、武田邦太郎「未来国家の理想像(西山時 代)」、いしはらろくろう「兄莞爾の幼少年時代(3)」、たむら鋼作 「主張 暴力革命・対・食糧自給」、杉沼三郎「日・米・ソ三国の罪 の結節点 解説・嵐の38度線」。協和党出版物や石原莞爾遺著の広告 あり

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
214		のろし第15号「来年は『危年』だ どうなるかア元帥の戦略」	/山形市七日町 協和党出版部	昭和27年12月15日	1点(2頁)			活字	2面に「協和党よりネール首相へ」、泉川登「石原莞爾伝よもやま話(二)」あり
215		のろし第24号「主張 日本の独立と農民」	協和党出版部	昭和28年5月10日	1点(4頁)	「選挙戦から組織の拡大へ」武田邦太郎「評伝 毛沢東(9)」むのたけじ(選挙戦から何を学んだか)「組織は拡大した」庄内第四・上野治吉「農民のための協和党だ！」庄内第一・鈴木未治「組織の拡大と生産運動は一つ」西山分会・入江辰雄「石原主義とボルシエウイキ」鎌形浅吉「平和に徹すべし！」淵上千津「インドの農地解放」佐藤行通		活字	武田邦太郎「選挙戦から組織の拡大へ」、むのたけじ「評伝 毛沢東(9)」、「選挙戦から何を学んだか」、鎌形浅吉「石原主義とボルシエウイキ」、淵上千津「平和に徹すべし!」。「石原主義入門」の広告、「党組織一覧表」あり。鉛筆による落書きあり
216		のろし第30号「全参へ！ 全参へ！ 深い憂いをもちよう 祖国はまたも亡国の淵に立っている」	協和党出版部	昭和28年8月1日	1点(4頁)	「総評の左傾化をつく」武田邦太郎(七、二四)「評伝 毛沢東(14)」むのたけじ「石原將軍を初めて知った思出」小俣義良「科学者にきけ！！日本の再軍備無用論を」！！(2)佐藤忠恕「血のかよう政治 帰国者にきく中国の事情」最上俊雄「地元から」庄内第四 小野寺武敏		活字	武田邦太郎「総評の左傾化をつく」、むのたけじ「評伝 毛沢東(14)」、小俣義良「石原將軍を初めて知った思出」、佐藤忠恕「科学者にきけ！！日本の再軍備無用論を！！(2)」、最上俊雄「血のかよう政治 帰国者にきく中国の事情」。「夏季講習会の開催」の広告、協和党出版物や石原莞爾遺著の広告あり
217		のろし第64号「天皇と国民を引き離すもの 政府の逆コース方針 宮内庁の形式主義」	協和党出版部	昭和29年9月1日	1点(4頁)	「続・最終戦争物語」(11)田村鋼作(宮農と技術)「止草後の稲の管理」佐藤利夫「庄内国土計画の新構想」(六)武田邦太郎「再び石原先生について」東宮七男「教育革新論」(八)石原莞爾(昭和十七年)		活字	田村鋼作「続・最終戦争物語(11)」佐藤利夫「宮農と技術 止草後の稲の管理」、武田邦太郎「庄内国土計画の新構想(六)」、東宮七男「再び石原先生について」、石原莞爾「教育革新論(八)」。協和党や日蓮教同志会の出版物の広告あり

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
218		のろし第68号「大局を見ない米価決定の方針」	協和党出版部	昭和29年10月11日	1点(4頁)	「全国一巡の旅から」(2) 杉沼三郎「続・最終戦争物語」(14)田村鋼作「石原將軍を想う」片岡潔「柿の葉の効用」(3)斎藤英雄		活字	「洞爺丸遭難の責任者は誰か」、「イギリス人の見たインドシナ休戦の教訓」、杉沼三郎「全国一巡の旅から(2)」、田村鋼作「続・最終戦争物語(14)」、片岡潔「石原將軍を想う」。
219		のろし第69号「『生活そのものの力』を育成せよ」	協和党出版部	昭和29年10月21日	1点(4頁)	「続・最終戦争物語」(15) 田村鋼作(「最終戦争」対策資料)「『放射能症』について」都築正男「石原將軍を想う」(2)片岡潔「全国一巡の旅から(3)」杉沼三郎		活字	田村鋼作「続・最終戦争物語(15)」、都築正男「最終戦争対策資料・『放射能症』について」、片岡潔「石原將軍を想う(2)」、杉沼三郎「全国一巡の旅から(3)」。4面に石原莞爾『新日本の建設』、田村鋼作『戦争はなくなる』、『石原主義入門』の広告あり
220		のろし第73号「東北アジア防衛機構の前進」	協和党出版部	昭和29年12月11日	1点(4頁)	「全国一巡の旅から」(七) 杉沼三郎「言論への熱情」(明治の日本人を憶うーその四)斎藤康司(名著紹介)「ローラン君の話」(四)池本喜三夫「続・最終戦争物語」(18)"最終戦争"に備えよう」(4)田村鋼作「(石原先生の思い出)「徳をなす人」(中)武田邦太郎「東亜連盟協会運動要領に就て」(四)石原莞爾(昭和16年10月)		活字	杉沼三郎「全国一巡の旅から」(7)、斎藤康司「言論への熱情」、池本喜三夫「名著紹介・ローラン君の話(4)」、田村鋼作「続・最終戦争物語(18)」、武田邦太郎「石原先生の思い出・徳をなす人(中)」石原莞爾「東亜連盟協会運動要領に就て(4)」
221		のろし第78号「宗教心の意義=選挙季節を前に」	協和党出版部	昭和30年2月1日	1点(4頁)	「(生活革新のために)『酵素の使い方』」(2)大場信夫「『福島自由民権運動史』を読んで」佐藤忠恕(名著紹介)「『レーニンの思い出』よりペテルグラーダのこと」エヌ・クルプスカヤ「東亜連盟協会運動要領に就て」(九)石原莞爾(昭和16年10月)「最終戦争時代と人類の健康(四)堀田嘉之		活字	「石原主義陣営の大合同 最終戦争前夜に万全の態勢を」、大場信夫「酵素の使い方(2)」、佐藤忠恕「『福島自由民権運動史』を読んで」、「名著紹介 エヌ・クルプスカヤ『レーニンの思い出』より」、石原莞爾「東亜連盟協会運動要領に就て(9)」、堀田嘉之「最終戦争時代と人類の健康(4)」。2面に「協和党報合本」(党報の合冊本)の広告あり

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
222		のろし第79号「全国民に訴えよう 食糧自給の平和的意義」	協和党出版部	昭和30年2月11日	1点(2頁)		「79号のろし(飽海版)」謄写版 1枚(1項) 2面左端部に糊付	活字	2面に中央事務所移転のお知らせあり
223		のろし第80号「重くなるソ連軍部の比重」	協和党出版部	昭和30年2月21日	1点(4頁)	「歩く政治庄内巡回記」唐沢忠 「シナ思想の原形とその流れ」佐藤忠恕(名著紹介)「『レーニンの思い出』より流刑地のこと」エヌ・クルプスカヤ 「東亜連盟協会運動要領に就て」(十)石原莞爾(昭和十六年十月)		活字	唐沢忠「歩く政治庄内巡回記」、佐藤忠恕「シナ思想の原形とその流れ」、「名著紹介 エヌ・クルプスカヤ『レーニンの思い出』より」石原莞爾「東亜連盟協会運動要領に就て(10)」。4面に『石原主義入門』『日蓮聖人の予言』『月刊血脈』の広告あり
224		のろし第88号「日ソ交渉はアジアの側に立て」	協和党出版部	昭和30年6月1日	1点(4頁)	「石原莞爾の思い出」堀田政孝「石原莞爾落穂集」宮本忠孝		活字	堀田政孝「石原莞爾の思い出」、宮本忠孝「石原莞爾落穂集」、「創刊三週年を迎えて」、「石原莞爾自筆の漫画」、「名著紹介 ゲッベルス『ベルリン奪取』から(1)」
225		のろし第102号「嵐に立つ農協 農民団体再編成のとき」	協和党出版部	昭和30年11月1日	1点(4頁)	「庄内平野の稲揚げをやって」遠藤富子(本棚)「中庸を行くスエーデンから」(4)「国際的独占権の打破」M. W. チャイルズ		活字	遠藤富子「庄内平野の稲揚げをやって」、「本棚 M. W. チャイルズ『中庸を行くスエーデンから(4)』」、柿崎幸雄による石原主義十講への参加感想文あり
226		協和新聞第221号	中島内記編/協和党出版部(発行人)杉沼三郎	昭和34年4月11日	1点(4頁)	「昭和革新論の学習」(45)石原主義研究会「石原将軍と二・二六事件」(3)松村秀一		活字	石原主義研究会「昭和革新論の学習」(45)、松村秀一「石原将軍と二・二六事件(3)」、「皇太子殿下こそ戦争放棄国家の先頭に」、「『繆斌工作』より(11)」、「石原莞爾写真集」など
227		協和新聞第421号	/協和党出版部	昭和39年11月11日	1点(4頁)	「軍部の政治干与強まる 世界の特徴的動向」河村利明 「歴史観の整理 思想信仰の統一はいかなる形でなされるか」協進支部 「新日本の道標(4)」石原莞爾 「酒田軍事法廷の石原将軍(1)」志田英作 「中共を視察して祖国日本を想う」木村武雄		活字	河村利明「軍部の政治干与強まる 世界の特徴的動向」、協進支部 「歴史観の整理 思想信仰の統一はいかなる形でなされるか」、石原莞爾「新日本の道標(4)」、志田英作「酒田軍事法廷の石原将軍(1)」、木村武雄「中共を視察して祖国日本を想う」

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
228		協和新聞第422号	協和党出版部	昭和39年11月21日	1点(4頁)	「ソ連、二正面作戦を廃棄か 最終戦争時代の必然生について」河村利明 「新日本の道標(5)」石原莞爾 「ふえる農民ジブシー 解決の方策はなにか」 本間斗見夫		活字	河村利明「ソ連、二正面作戦を廃棄か 最終戦争時代の必然生について」、石原莞爾「新日本の道標(4)」、本間斗見夫「ふえる農民ジブシー 解決の方策はなにか」
229		協和新聞第423号	協和党出版部	昭和39年12月1日	1点(4頁)	「新日本の道標(6)」石原莞爾 「酒田軍事法廷の石原将軍(3)」志田英作 「中国訪問より帰って(29)」中島内記 「平和のための告発」 沢村竜太郎		活字	石原莞爾「新日本の道標(6)」、志田英作「酒田軍事法廷の石原将軍(3)」、中島内記「中国訪問より帰って(28)」、沢村竜太郎「平和のための告発」
230		協和新聞第429号	協和党出版部	昭和40年2月1日	1点(4頁)	「八方破りの農業論」河村利明 「訂正お詫び『ワイマール憲法』について」佐藤達雄 「新日本の道標(10)」石原莞爾 「酒田軍事法廷の石原将軍(7)」志田英作 「残された時間 ある石原莞爾伝(4)石川正敏」 「平和のための告発(7)」沢村竜太郎		活字	河村利明「八方破りの農業論」、石原莞爾「新日本の道標(10)」、志田英作「酒田軍事法廷の石原将軍(7)」、石川正敏「残された時間ある石原莞爾伝(4)」、沢村竜太郎「平和のための告発(7)」。
231		協和新聞第432号	協和党出版部	昭和40年3月1日	1点(4頁)	「まず最終戦争の発火を避け ベトナムの混乱はアメリカの大国意識から」後藤一雄 「新日本の道標(12)」石原莞爾 「残された時間ある石原莞爾伝(7)」石川正敏 「平和のための告発(10)」 沢村竜太郎		活字	後藤一雄「まず最終戦争の発火を避け ベトナムの混乱はアメリカの大国意識から」、石原莞爾「新日本の道標(12)」、石川正敏「残された時間ある石原莞爾伝(7)」、沢村竜太郎「平和のための告発(9)」

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
232		協和新聞第434号	協和党出版部	昭和40年3月21日	1点(4頁)	「三矢計画の正体 問題はむしろ国会にある」河村「大企業の農村進出は実現性なし 農民は自らの手で小工業を〔庄内連絡会議より〕」本間「新日本の道標(13)」石原莞爾「残された時間 ある石原莞爾伝(9)」石川正敏		活字	河村利明「三矢計画の正体 問題はむしろ国会にある」、本間「大企業の農村進出は実現性なし 農民は自らの手で小工業を」、石原莞爾「新日本の道標(13)」、石川正敏「残された時間 ある石原莞爾伝(8)」
233		協和新聞第436号	協和党出版部	昭和40年4月11日	1点(4頁)	「人類史は最終革命期に突入した」河村利明「新日本の道標(14)」石原莞爾「満州国を演出した参謀たち-満系開拓民の土地取り上げを中止させた開拓秘話-」榎本捨三「残された時間 ある石原莞爾伝(11)」石川正敏		活字	河村利明「人類史は最終革命期に突入した」、石原莞爾「新日本の道標(14)」、榎本捨三「満州国を演出した参謀たち-満系開拓民の土地取り上げを中止させた開拓秘話-」(『人物往来誌』より転載)、石川正敏「残された時間 ある石原莞爾伝(11)」。
234		協和新聞第437号	協和党出版部	昭和40年4月21日	1点(4頁)	「ペンタゴンの合理主義」後藤利一「最終戦論について(1)」石原六垠「新日本の道標(15)」石原莞爾「残された時間 ある石原莞爾伝(11)」石川正敏		活字	後藤利一「ペンタゴンの合理主義」、石原六垠「最終戦論について(1)」、石原莞爾「新日本の道標(15)」、石川正敏「残された時間 ある石原莞爾伝(11)」。「最終戦論について」は協和プラスチック学習会の口演内容。
235		協和新聞第655号	/高知市愛宕山105番地 責任者・中島内記	昭和46年10月11日	1点(2頁)	「知事選に望む われらの態度」編集部、「農工一体研究資料 日本の人と土地」新農政研究所副所長・農林大臣顧問 武田邦太郎		活字	編集部「知事選に望む われらの態度」、武田邦太郎「農工一体研究資料 日本の人と土地」。白土みどり著「最終戦争時代論-石原莞爾の思想」の広告あり。
236		協和新聞第657号	/高知市愛宕山105番地 責任者・中島内記	昭和46年11月1日	1点(2頁)	「石原主義を市民の手へ」、「中国の核実験を糾弾する」		活字	「石原主義を市民の手へ」、「中国の核実験を糾弾する」
237		協和新聞第659号	/高知市愛宕山105番地 責任者・中島内記	昭和47年1月1日	1点(2頁)	「新年を迎えて われらの運動方針」、協和会青年部座談会「ことしは二千人集会を」		活字	「新年を迎えて われらの運動方針」、協和会青年部座談会「ことしは二千人集会を」

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
238		協和新聞第664号	/高知市愛宕山105番地 責任者・中島内記	昭和47年2月21日	1点(2頁)	「いまこそ発想の大転換を-新時代の交通政策」		活字	「いまこそ発想の大転換を-新時代の交通政策」。石原莞爾『最終戦争論』(経済往来社)の新刊紹介あり。「お願い」として、石原莞爾に関する資料の提供を乞う記事あり。広告欄に石原六郎「『空想から科学へ』の戦争論--石原莞爾の思想と人--」、石原莞爾の中国要人への手紙完成、「石原莞爾はこう語った」など広告あり。
239		協和新聞第667号	/高知市愛宕山105番地 責任者・中島内記	昭和47年3月21日	1点(2頁)	「消費者行政への提言」、 「『無気力』市役所の実態 革新市政の舞台裏」		活字	「消費者行政への提言」、「『無気力』市役所の実態 革新市政の舞台裏」
240		協和新聞第670号	/高知市愛宕山105番地 責任者・中島内記	昭和47年4月21日	1点(2頁)	「日本の進むべき道-秘密主義を左右する国防方針」、 「石原莞爾の指摘- "戦争はなくなる"」		活字	「日本の進むべき道-秘密主義を左右する国防方針」、「石原莞爾の指摘- "戦争はなくなる"」
241		協和新聞第679号	/協和新聞編集委員会(代表・中島内記)	昭和47年8月1日	1点(2頁)	「荒れ狂う高知市の暴走族と群衆」、「ごあいさつ」 木村武雄「農政旅行だより(1)」 武田邦太郎		活字	「荒れ狂う高知市の暴走族と群衆」、木村武雄「ごあいさつ」 武田邦太郎「農政旅行だより(1)」。 1面に「八・一五集会ご案内」あり。 なお武田邦太郎は当時、日本列島改造問題懇談会委員。
242		協和新聞第686号	/協和新聞編集委員会(代表・中島内記)	昭和47年10月21日	1点(2頁)	「日本列島改造への所見(本紙顧問)武田改造懇委員の強調点」		活字	「日本列島改造への所見(本紙顧問)武田改造懇委員の強調点」
243		協和新聞第691号	/協和会・協和新聞編集委員会	昭和47年12月11日	1点(2頁)	「いまこそ学べ石原の都市論」、「公害はなくなる-経済成長と国民生活」(その2)武田邦太郎		活字	「いまこそ学べ石原の都市論」、武田邦太郎「公害はなくなる-経済成長と国民生活」(その2)。「公害はなくなる」は、第13回協新まつり記念講演より。
244		協和新聞第697号	/協和会・協和新聞編集委員会	昭和48年2月11日	1点(2頁)	「高知市長への提言 交通行政を転換せよ」、「日本列島改造論と農業(三)」 武田邦太郎		活字	「高知市長への提言 交通行政を転換せよ」、武田邦太郎「日本列島改造論と農業(三)」
245		協和新聞第704号	/協和会・協和新聞編集委員会	昭和48年4月21日	1点(2頁)	「経済動向を見誤るな=列島改造のために(その一)」 = 編集部「これからの農業 農政対談(最終回)-農林大臣・桜内義雄/きき手・松浦龍雄		活字	「経済動向を見誤るな 列島改造のために(その一)」、農相桜内義雄・松浦龍雄「これからの農業 農政対談(最終回)」。 1面に「石原莞爾著『最終戦争論』」の広告あり。

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
246		協和新聞第706号	/協和会・協和新聞編集委員会	昭和48年5月11日	1点(2頁)	「『農工一体』東北遊説の成果」、「日本列島改造と農業(1)」武田邦太郎		活字	「『農工一体』東北遊説の成果」、武田邦太郎「日本列島改造と農業(1)」。東北遊説は農工一体政策推進本部(本部長・木村武雄、事務局長・中島内記)が主導。「日本列島改造と農業」は武田が内閣官房に提出した意見書。
247		協和新聞第707号	/協和会・協和新聞編集委員会	昭和48年5月21日	1点(2頁)	「『分散駐車場の設置を急げ!』」、「日本列島改造と農業(2)」武田邦太郎「石原莞爾先生未亡人梯子様をお見舞いして」協和会会長・中島内記		活字	「『分散駐車場の設置を急げ!』」、武田邦太郎「日本列島改造と農業(2)」、中島内記「石原莞爾先生未亡人梯子様をお見舞いして」
248		協和新聞第716号	/高知市愛宕山105番地	昭和48年9月中旬	1点(2頁)	(特報)「インドネシア大統領と会見」=中島内記会長帰国談「政治と教育の使命こそ重大ー日本列島改造論と農業8」武田邦太郎		活字	中島内記「インドネシア大統領と会見(特報)(帰国談)」、武田邦太郎「政治と教育の使命こそ重大ー日本列島改造論と農業8」
249		協和新聞第722号	/協和会・協和新聞編集委員会	昭和48年11月21日	1点(2頁)	「的中した日本の`危機`-協和会の対策に注目を-」、「インドネシア訪問記(4)スファルト大統領と会見-厳正な生活態度」中島内記		活字	「的中した日本の`危機`-協和会の対策に注目を-」、中島内記「インドネシア訪問記(3)スファルト大統領と会見-厳正な生活態度」
250		協和新聞第723号	/協和会・協和新聞編集委員会	昭和49年1月1日	1点(2頁)			活字	武田邦太郎「一九七四年 石油危機とこれからの日本」、「新年の決意」中島内記。武田の記事は、第十四回協新祭り記念講演の要旨。
251		協和新聞第740号	/協和会・協和新聞編集委員会	昭和49年10月1日	1点(2頁)	編集部「県政の危機を訴える-中島内記とはどんな男か」、中島内記「私の主張」、(内記へ一言)「先見の明」高知市助役・横山龍雄		活字	編集部「県政の危機を訴える-中島内記とはどんな男か」、中島内記「私の主張」。中島の略歴あり。
252		協和新聞第741号	/協和会・協和新聞編集委員会	昭和49年10月11日	1点(2頁)	「われらはかく戦う-紙上(匿名)参謀座談会」		活字	「われらはかく戦う-紙上(匿名)参謀座談会」。2面に「『石原莞爾はこう語った』在庫あり」の広告あり。
253		協和新聞第783号	/高知市宇津野177-4番地	昭和50年12月21日	1点(2頁)	「知事選 戦い終って 新県政の最大の課題は何か」中島内記		活字	中島内記「知事選 戦い終って 新県政の最大の課題は何か」。

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
254		協和新聞第823号	/山形市緑町三丁目11番9号協和党出版部	昭和51年3月11日	1点(4頁)	「同志について」(2)小田桐孫一「『石原莞爾全集』刊行の経過について」渡辺昭治		活字	小田桐孫一「同志について」(2)、渡辺昭治「『石原莞爾全集』刊行の経過について」
255		協和新聞第853号	/山形市緑町三丁目11番9号協和党出版部	昭和52年2月11日	1点(4頁)	「核軍縮と最終戦争」藤田和昭「石原主義復権への提言(1)―政治活動と思想運動」(上)平沢光人「石原六垠落穂集」小田桐孫一		活字	藤田和昭「核軍縮と最終戦争」、平沢光人「石原主義復権への提言(1)―政治活動と思想運動(上)」、小田桐孫一「石原六垠落穂集」
256		協和新聞第862号	/高知市宇津野177 編集責任者 矢野文章	昭和53年4月21日	1点(2頁)	「崩壊する価値観 現代の条件 円高・不況の次は」、「青年農業者との懇談」、「予見と科学」中島内記		活字	「崩壊する価値観 現代の条件 円高・不況の次は」、「青年農業者との懇談」、中島内記「予見と科学」
257		協和新聞第887号	/高知市宇津野177 編集責任者 矢野文章	昭和54年1月1日	1点(2頁)	「新時代の生き方を探求」		活字	「新時代の生き方を探求」
258		協和新聞第892号	/山形市緑町三丁目11番9号 協和党出版部	昭和53年3月11日	1点(4頁)	「国民皆農への革命的転機」(下)小田桐孫一「石原主義復権への提言」(13)昭和維新論の現代化」平沢光人「記念館建設を早急」真山元輔「東亜連盟は白禍思想か」T生		活字	小田桐孫一「国民皆農への革命的転機(下)」、平沢光人「石原主義復権への提言」(13)昭和維新論の現代化」、真山元輔「記念館建設を早急」、T生「東亜連盟は白禍思想か」
259		協和新聞第1005号	/高知市宇津野177 編集委代表・矢野文章 発行人代表・中島内記	昭和57年6月11日	1点(2頁)	「ついにきた大変化の時代」協和会会長・中島内記「中島内記擁立を決定 高知市議員選に」		活字	中島内記「ついにきた大変化の時代」、「中島内記擁立を決定 高知市議員選に」
260		協和新聞第1097号	/高知市宇津野177	昭和60年1月1日	1点(2頁)	「年頭のごあいさつ」中島内記		活字	「年頭のごあいさつ」中島内記
261		国民青森(協和党青森県組織機関紙)創刊号		昭和26年9月1日	1点(2頁)			手書謄写	「青森県同志諸君に訴う」、「津軽青年の歌」、「国民党会計報告」

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
262		東北連絡版7号	/山形市旅籠町629番協和党東北事務所		1点(4頁)			手書謄写	出版案内として「協和党が生まれるまで」「選挙法改正案」「鶴岡講習記録」(石原の最後の講習記録)、出版広告として「悲劇の将軍石原莞爾 山口重次著」あり
四、新東亜連盟									
1. 内部									
263		東亜連盟同志会昭和29年情勢判断		昭和29年	7枚(14頁)			手書謄写	「東亜連盟同志会 昭和29年度 運動方針」あり、書き込みあり
264		情勢判断及運動方針について 各支部の意見		昭和29年	4枚(8頁)			手書謄写	書き込みあり
265		参考 「宣言」			1枚	国民党および協和党の「宣言」掲載		手書謄写	旧東亜連盟・国民党・協和党の「宣言」
266		四月在京常任委員会報告	/東亜連盟同志会本部	昭和29年4月15日	1枚			手書謄写	
2. 定期刊行物									
267		自衛新軍備建設要項 [...]							
	1	自衛新軍備建設要項		昭和27年	1冊(19頁)		ファイル 1点	手書謄写	年代は、15項の終戦より7年という記述より推定。以下一冊に綴られていた。
	2	創刊号(通号第14号)	/同志会(編集発行人)中下魁平	昭和27年8月15日	1点(4頁)	「運動の回顧と展望」辻政信、「の復活に際して」中山優、「大国と小国と中立—アジアの解放—」田辺新之、「第三次大戦と日本の立場」松井忠雄、「国是及国策要項案覚書」作田荘園		活字	1面に「綱領」、3面に「綱領、主張に対する質疑応答 要旨」、4面に「同志会規約」あり。辻政信「運動の回顧と展望」、中山優「の復活に際して」、松井忠雄「第三次大戦と日本の立場」

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
	3	協和第13号	/協和社(編集発行人)中下魁平	昭和27年7月25日	1点(4頁)	「祖国を護もる」中山優、「米国から帰って」大橋忠一、国是及国策要項案覚書(一)作田荘一、「国民党革命外史(九)」辻政信、「第三次大戦と日本の立場(二)」松井忠雄		活字	1面に「合併の言葉」、永田正義『独立論』(出版広告)あり。中山優「祖国を護もる」、大橋忠一「米国から帰って」、辻政信「国民党革命外史(九)」、松井忠雄「第三次大戦と日本の立場(二)」
	4	協和第12号	/協和社(編集発行人)中下魁平	昭和27年6月25日	1点(4頁)	「第三次大戦と日本の立場」松井忠雄、「国民党革命外史(八)」辻政信、「対ソ外交を開け」柴一貫、「代議士年収百八十萬圓」高野清八郎、「狛江村漫想」中山優		活字	1面に「主張」、『十三階段を上る』(亜東書房)(出版広告)あり。松井忠雄「第三次大戦と日本の立場」、辻政信「国民党革命外史(八)」、中山優「狛江村漫想」
	5	協和第10号	/協和社(編集発行人)中下魁平	昭和27年4月25日	1点(4頁)	「自衛への前進」中山優、「国民党革命外史(七)」辻政信、「教育革命論(下)」池上等、「皇居清掃の『行』」柴一貫、「中国史上高士抄論」吉田東州、「悪夢の連想」柴生		活字	3面に辻政信『自衛中立』(亜東書房)の出版広告あり。中山優「自衛への前進」、辻政信「国民党革命外史(七)」、池上等「教育革命論(下)」
	6	協和第9号	/協和社(編集発行人)中下魁平	昭和27年3月25日	1点(4頁)	「新憲法制定の国民運動を起せ」丹波直見、「つきない追慕 石原将軍の思い出—酒田市軍事法廷を中心に—」曹寧柱述、「民生安定の根本」木村秋山、「国民党革命外史(六)」辻政信、「教育革命論(中)」池上等、「新しき思想的地盤」中山優		活字	1面に『軍備賛否論を衝く』、辻政信『自衛中立』(東亜書房)(出版広告)。丹波直見「新憲法制定の国民運動を起せ」、曹寧柱述「つきない追慕 石原将軍の思い出」、木村秋山「民生安定の根本」、辻政信「国民党革命外史(六)」、池上等「教育革命論(中)」、中山優「新しき思想的地盤」
	7	月刊協和第7号	/月刊協和社(編集発行人)中下魁平	昭和27年1月25日	1点(4頁)	「シナ文化中共」中山優、「一億人の生きる道(一)」加藤完治、「官僚とその汚職」柴一貫		活字	1面に、「再論 国民運動 第三勢力の立場」、2面に「座談会 再軍備はか非か」(大学生、帰郷兵、自由党議員、社会党左派の四名による)。中山優「シナ文化中共」、加藤完治「一億人の生きる道(一)」、柴一貫「官僚とその汚職」

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
	8	月刊協和第6号	/月刊協和社 (編集発行人)中下魁平	昭和26年12月 25日	1点 (4 頁)	「保健制度の根本的建前について」丹波直見、「嵐の中の新春」中山優、「国民党革命外史(四)」辻政信、「道は近きであり—生命実験的生活—」天田彦、「日本唯一のコルホーズ—報徳開拓農協組視察記—」牛島辰熊		活字	1面に「本社は一九五二年一月号から『月刊亜東』を合併」との社告あり。赤鉛筆傍線書き込みあり。丹波直見「保健制度の根本的建前について」、中山優「嵐の中の新春」、辻政信「国民党革命外史(四)」、牛島辰熊「日本唯一のコルホーズ—報徳開拓農協組視察記—」
	9	月刊協和第4号	/月刊協和社 (編集発行人)中下魁平	昭和26年10月 25日	1点 (4 頁)	「道理による裁断」中山優、「国民党革命外史(二)」辻政信、「中共政治を検討する(一)—雑誌、独立論壇(香港)より—」石心堅、「政治教育の夢」丹波直見		活字	中山優「道理による裁断」、辻政信「国民党革命外史(二)」、石心堅「中共政治を検討する(一)—雑誌、独立論壇(香港)より—」、丹波直見「政治教育の夢」
	10	月刊協和第3号	/月刊協和社 (編集発行人)中下魁平	昭和26年9月25 日	1点 (4 頁)	「現代人の教養 = 読孟所感 =」丁々子、「国民党革命外史(一)」辻政信、「新日本の進路(完)」石原莞爾遺稿、「農家二、三男の問題」開拓自興会々長、農村二三男対策中央協議会委員・吉崎千秋		活字	2面に「辻政信『潜行三千里』、同『亜細亜の共感』)の出版広告あり。「現代人の教養 = 読孟所感 =」丁々子、辻政信「国民党革命外史(一)」、石原莞爾遺稿「新日本の進路(完)」、吉崎千秋「農家二、三男の問題」
	11	月刊協和第2号	/(編集発行人)中下魁平	昭和26年8月25 日	1点 (4 頁)	「平和と危機—講話会議をめぐって—」中山優、「祖国を憶ふ—韓国動乱と共産党—」在日大韓国青年団本部部長・曹寧柱、「新日本の進路(二)」石原莞爾遺稿		活字	3面に協和党とは無関係との声明あり。牛島辰熊「日本共産勢力の解剖と展望」、中山優「平和と危機—講話会議をめぐって—」、曹寧柱「祖国を憶ふ—韓国動乱と共産党—」、石原莞爾遺稿「新日本の進路(二)」
	12	協和 創刊号	/(編集発行人)中下魁平	昭和26年7月15 日	1点 (4 頁)	「大悲観中の大楽観」丁々子、「新日本の進路(一)」石原莞爾遺稿、「トルストイと大学」双樹庵		活字	「朝鮮戦線とその後に来るもの—亡命—中国人の観察」、丁々子「大悲観中の大楽観」、石原莞爾遺稿「新日本の進路(一)」、双樹庵「トルストイと大学」

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
	13	月刊亜東	/亜東書房	昭和26年11月15日	1点(4頁)	「いつまで続く駐兵ぞ」田辺新之、「国民党革命外史(4)」辻政信、「対華二十一ヶ条の回想(下)」柴一貫、「興亜随想(三)」西内雅、「中日合併論—東亜問題解決の一方法—」南京世紀評論・何永結著、王文亮訳、「占領中の外債償還」前田長太郎		活字	辻政信『潜行三千里』、同『亜細亜の共感』、同『ノモンハン』の広告あり。田辺新之「いつまで続く駐兵ぞ」、辻政信「国民党革命外史(4)」、柴一貫「対華二十一ヶ条の回想(下)」、西内雅「興亜随想(三)」、前田長太郎「占領中の外債償還」
	14	月刊亜東	/亜東書房	昭和26年9月15日	1点(4頁)	「国民党革命外史(二)」辻政信		活字	辻政信『潜行三千里』、同『亜細亜の共感』、同『ノモンハン』の新刊広告あり。辻政信「国民党革命外史(二)」
	15	月刊亜東	/亜東書房	昭和26年8月15日	1点(4頁)	「講和と国民意志」柴一貫、「国民党革命外史(一)」辻政信、「興亜随想」西内雅、「純正日本人」高杉健、「太平洋のドクロ」松井忠雄、「東亜の幸福」「朝鮮の次に来るもの」前田長太郎		活字	辻政信『潜行三千里』、同『亜細亜の共感』、同『ノモンハン』の新刊広告あり。柴一貫「講和と国民意志」、辻政信「国民党革命外史(一)」、西内雅「興亜随想」、高杉健「純正日本人」、松井忠雄「太平洋のドクロ」、前田長太郎「朝鮮の次に来るもの」
268		在京常任委員会報告 [...]							
	1	在京常任委員会報告	/東亜連盟同志会本部	昭和29年6月20日	2枚			手書謄写	書き込みあり
	2	東亜連盟本部会報第13号	/東亜連盟同志会本部	昭和29年6月1日	同一2点(各11枚)			手書謄写	「禁無断転載」
	3	東亜連盟本部会報第14号	/東亜連盟同志会本部	昭和29年7月1日	10枚			手書謄写	「禁無断転載」
269		東亜連盟本部会報第17号	/東亜連盟同志会	昭和29年10月	11枚	宣言、第三回全国大会の記、大会に於ける本部報告、昭和二十九年度(後期)運動方針 など		手書謄写	宣言、第三回全国大会の記、大会に於ける本部報告、昭和二十九年度(後期)運動方針 など

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
270		東亜連盟第4号	/東亜連盟同志会	昭和27年11月15日	1点(6頁)	1面上左部に「綱領」「自衛中立、政治独立、経済独立、アジア解放」「主張」11ヶ条記載。「立体氏礼を壽ぐ」中山優「朝鮮出兵に反対す」辻政信「平和国家の建設」大橋忠一「国会の窓から」木村武雄「東亜連盟運動再興の理」(下)田中久「東亜連盟運動の前進」大塚彰「政局の前途と東亜連盟運動」田中直吉「在日韓国人問題について」尹龍「戦傷病者の援護を訴える」笠時乗「国民党革命外史」(十二)辻政信「日共は悩んでいる」曹寧柱		活字	中山優「立体氏礼を壽ぐ」、辻政信「朝鮮出兵に反対す」、大橋忠一「平和国家の建設」、木村武雄「国会の窓から」、田中久「東亜連盟運動再興の理(下)」、大塚彰「東亜連盟運動の前進」、田中直吉「政局の前途と東亜連盟運動」、尹龍「在日韓国人問題について」、辻政信「国民党革命外史(12)」、曹寧柱「日共は悩んでいる」。辻政信や石原莞爾の著作広告あり。
271		東亜連盟第5号	/東亜連盟同志会	昭和27年12月15日	1点(4頁)	「吉田首相に問う 施政方針に対する質疑」辻政信「歳晩断想」中山優「石原さんの想い出」牛島辰熊「石原将軍の戦争史大観の由来記」(抄)(対談)「一つのアジアへの道」ビルマ国王族リン・ビン殿下/辻政信「辻政信氏の質問演説を傍聴して」杉浦晴男「アジア共同経済計画の提唱」千葉健児「現地工作報告 特に班の活動について」矢部僊吉		活字	辻政信「吉田首相に問う」、中山優「歳晩断想」、牛島辰熊「石原さんの想い出」、「石原将軍の戦争史大観の由来記(抄)」、リン・ビン/辻政信「(対談)一つのアジアへの道」、杉浦晴男「辻政信氏の質問演説を傍聴して」、千葉健児「アジア共同経済計画の提唱」、矢部僊吉「現地工作報告 特に班の活動について」。辻政信や石原莞爾の著作広告あり

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
272		東亜連盟第7号 (通号第20号)	/東亜連盟同志会	昭和28年2月15日	1点(4頁)	1面中央に「綱領—自衛中立 政治独立 経済自立 アジア解放」主張十ヶ条を記載。「アイク声明と東亜の形成」中山優「国際情勢と東連運動」(下)辻政信「東亜連盟運動史論」(一)杉浦晴男「石原将軍を語る」木村武雄「長野県本部結成大会記念公開講演会の状況報告」(下)内山一弥「テーブルレコーダーの活躍」矢部僊吉	ファイル 1点	活字	1面に綱領四ヶ条主張十ヶ条あり。中山優「アイク声明と東亜の形成」、辻政信「国際情勢と東連運動(下)」、杉浦晴男「東亜連盟運動史論(1)」、木村武雄「石原将軍を語る」、内山一弥「長野県本部結成大会記念公開講演会の状況報告(下)」。
273		東亜連盟第1巻第7号 (通巻28号)	/東亜連盟同志会	昭和28年11月1日	1冊(32頁)	「王道論序説」中山優「第三文化時代と政党」小山貞知「経済自立論序説」濱野一郎「革新奏作法について」加藤年雄「指導原理に対する疑問」丸橋安夫「丸橋盟兄に答う」山口重次「浜野さんの論説を拝読して」青木栄治		活字	前4頁分と19~20項欠如、中山優「王道論序説」、小山貞知「第三文化時代と政党」、濱野一郎「経済自立論序説」、丸橋安夫「指導原理に対する疑問」、山口重次「丸橋盟兄に答う」
274		東亜連盟第2巻第3号 (通巻32号)	/東亜連盟同志会	昭和29年3月1日	1冊(34頁)	「王道論おぼえ書」中山優「吉田演説の重要点」木村武雄「経済自立論」(三)濱野一郎「千原楠蔵氏を想う」牛島辰熊「東連運動随想」羽生善保「生活の改新」小糸婦美子「想子譜」(短歌)岩淵克郎「華僑留学生」山口重次「中国留学生を迎えて」平田茂「服部貞四郎氏の『中立否定論』を駁す」増川喜久男		活字	中山優「王道論おぼえ書」、木村武雄「吉田演説の重要点」、濱野一郎「経済自立論(3)」、牛島辰熊「千原楠蔵氏を想う」、羽生善保「東連運動随想」、山口重次「華僑留学生」、平田茂「中国留学生を迎えて」、増川喜久男「服部貞四郎氏の『中立否定論』を駁す」。1頁に「石原莞爾先生の言葉」、表紙裏などに石原莞爾『戦争史大観』『世界最終戦論』などの広告あり

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
275		松柏第2号	/同志会福岡県本部	昭和29年2月25日	1点(13頁)	「とは」第二輯 山口重次 「皆さんと共に」江頭姓 「日共の有力シンパ」田中徹夫「保安隊を公役軍に」寺島武雄「熱河肅正工作の思ひ出」小川信介「公僕種々相」不二彦「『李承晩』は狂人か？」寺島武雄		手書謄写	非売品。山口重次「とは 第二輯」、江頭姓「皆さんと共に」、田中徹夫「日共の有力シンパ」、寺島武雄「保安隊を公役軍に」、小川信介「熱河肅正工作の思ひ出」、不二彦「公僕種々相」、寺島武雄「『李承晩』は狂人か？」
五、その他									
276		満洲問題研究史料 No.1	/民族建設研究所		1冊(116頁)	「一、庭川辰男君とその周辺」牧野克巳「二、庭川辰男君と満洲建国運動」伊東六十次郎		活字	傍線あり、表紙「白土」とあり。牧野克巳「一、庭川辰男君とその周辺」、伊東六十次郎「二、庭川辰男君と満洲建国運動」。
277		泉第2号	/泉同人社編集兼発行人・尾見博巳	昭和28年2月	1冊(25頁)	「大学とラスキー」中山優「近衛声明のことども」中山優「暮より新年へ」中山優		活字	中山はもと満鉄青年幹部訓練所長。中山優「大学とラスキー」、中山優「近衛声明のことども」、中山優「暮より新年へ」。
278		新生アジア 創刊号 中共貿易問題特集	/新生アジア社	昭和33年8月	1冊(50頁)	「日中貿易断絶の諸要因」草野文男「対日貿易中断にどう処すべきか」苗剣秋「対中共、対国府貿易と中共の東南ア進出について」高村二郎(座談会)「当面の中共問題」毎日新聞社論説委員・青木繁、中華民国中央通訊社東京支社長・李嘉、ザ・プレス・トラスト・オブ・インディア東京支局長・ケー・ガイ・ナライン「ナジ処刑に対するアジアの声」亀山旭「多彩なるアジアの舞踊」榊原帰逸「石を投げられる女」若水新二郎		活字	草野文男「日中貿易断絶の諸要因」、苗剣秋「対日貿易中断にどう処すべきか」、高村二郎「対中共、対国府貿易と中共の東南ア進出について」、(座談会)「当面の中共問題」、亀山旭「ナジ処刑に対するアジアの声」
279		協会の創立由来	石原六郎	昭和52年3月	1冊(4頁)			活字(電子式複写)	「昭和四八、六、二六稿」とあり。末尾に石原六郎「東亜連盟→国民党→協和党」の記事コピー付せられる(同号掲載かどうかは不明)。『最終戦争時代』誌 昭和52年3月(第4巻3号)掲載。

資料 番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
【宗教関係】									
一、精華会									
1. 内部									
280		山形精華会印刷物 (メモ)			1枚		ファイル 1点	ペン	「一、戦線拡大 1、勤行のみの週例会の奨励 2、精華会主催の演劇会、講演会、慰霊祭、その他文化的催し開催 3、バツ子の普及 4、文書の普及」等記載される
281		No.2全国大会参加者 一覧表(東北地区宿泊 者)			1枚		ファイル 1点	ペン	裏面「一、本尊について『報恩鈔』の全句」「その本尊のていたらく」等の鉛書き込みあり
282		No.2全国大会参加者 一覧表(東北地区外、 関西)			1枚			ペン	
283		No.2全国大会参加者 一覧表(通勤者)			1枚			ペン	裏面「精華会全国大会参加者一覧表」とあり
2. 刊行物									
284		御妙判要文信感 教養 の部 その二	武田邦太郎	昭和23年8月3日	1枚(2頁)			活字	
285		「信仰と生活様式」 切抜	小泉菊枝		1枚			活字	雑誌・パンフレット類の一部(7頁目)
286		里見岸雄氏の文章に よせ わが信仰を吐露 す	武田邦太郎	昭和25年9月	1点(4頁)			活字	ペン書きこみあり。8頁立てのうち中4頁がぬけたもの。法華経信仰と石原主義について。288と関係あり、287と同一。
287		里見岸雄氏の文章に よせ わが信仰を吐露 す	武田邦太郎	昭和25年9月	1点(8頁)			活字	288と関係あり、286と同一
288		石原将軍と精華会運 動	武田邦太郎 淵上辰雄	昭和25年11月 15日	1枚			活字	法華経信仰と石原主義について。286と関係あり
3. 定期刊行物									

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
289		王道文化第6巻第9号	/精華会	昭和18年9月20日	1冊(28項)	「大いなる師の前に」歌川平次郎「亀岡に石原石原莞爾閣下をお訪ねして」河野信「やまと足袋御紹介」角野京子「我をおきて又人はあらじ」安部英子「朝鮮人を登用せよ」松村秀三「『日露陸戦新史』を読む」歌川平次郎		活字	40頁のうち、前12頁分欠如。歌川平次郎「大いなる師の前に」、河野信「亀岡に石原石原莞爾閣下をお訪ねして」安部英子「我をおきて又人はあらじ」、松村秀三「朝鮮人を登用せよ」など
290		王道文化 第8巻第5号	歌川平次郎編		1点(6頁)	「法華経と日本国体」小泉菊枝		活字	小泉菊枝「法華経と日本国体」
291		王道文化第9巻1号 (復刊第1号・No.267)	/精華会	昭和23年6月16日	1冊(48頁)	「末法二重の信仰」小泉菊枝「御妙判要文感話」(一)武田邦太郎「われらの村づくり(1)」八巻静夫「(思想劇)函谷関」田中智学		活字	小泉菊枝「末法二重の信仰」、武田邦太郎「御妙判要文感話(1)」、八巻静夫「われらの村づくり(1)」、田中智学(思想劇)「函谷関」
292		王道文化第9巻2号 (復刊第2号・No.268)	/精華会	昭和23年7月16日	1冊(48頁)	「三大秘法鈔について」小泉菊枝「御妙判要文信感(二)」武田邦太郎「新しき村建設の記」瀧本清「原子党宣言その他」柳田捷磨「キリスト教」武田邦太郎「科学戦争」田中智学		活字	小泉菊枝「三大秘法鈔について」、武田邦太郎「御妙判要文信感(2)」、瀧本清「新しき村建設の記」、柳田捷磨「原子党宣言その他」、武田邦太郎「キリスト教」、田中智学「科学戦争」
293		王道文化第9巻3号 (復刊第3号・No.269)	/精華会	昭和23年8月16日	1冊(48頁)	「予言より見たるキリスト教」(上)武田邦太郎「護国曼陀羅について」小泉菊枝「マルクス主義」(上)曹寧柱「土の牢」田中智学		活字	傍線書き込みあり。武田邦太郎「予言より見たるキリスト教(上)」、小泉菊枝「護国曼陀羅について」、曹寧柱「マルクス主義(上)」、田中智学「土の牢」
294		王道文化第9巻4号 (復刊第4号・No.270)	/精華会	昭和23年10月16日	1冊(56頁)	「仏教とキリスト教との予言について」水野胖「日蓮聖人の宗教の名称について」小泉菊枝「御妙判要文信感」(三)武田邦太郎「マルクス主義」(下)曹寧柱「聖書概説」中里和子「われらの村づくり」(3)小野克枝「今様宗論」田中智学		活字	水野胖「仏教とキリスト教との予言について」、小泉菊枝「日蓮聖人の宗教の名称について」、武田邦太郎「御妙判要文信感(3)」、曹寧柱「マルクス主義(下)」、中里和子「聖書概説」、小野克枝「われらの村づくり(3)」、田中智学「今様宗論」

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
295		王道文化第9巻5号 (復刊第5号・ No.271)	/精華会	昭和23年11月 16日	1冊(60 頁)	「佐渡始頭の曼陀羅本尊について」小泉菊枝「本門戒壇建立の『時』」水野静代「御妙判要文信感」(四)武田邦太郎「本尊讃歌」小泉菊枝 聖史劇『狙岩』田中智学		活字	小泉菊枝「佐渡始頭の曼陀羅本尊について」、水野静代「本門戒壇建立の『時』」、武田邦太郎「御妙判要文信感(4)」、小泉菊枝「本尊讃歌」、田中智学「聖史劇『狙岩』」
296		王道文化第10巻1号 (復刊第6号・ No.272)	/精華会	昭和24年1月16 日	1冊(56 頁)	「日蓮教より見たる人類史の大関節」小泉菊枝「家永氏の誤謬」武田邦太郎 御妙判要文信感」(五)武田邦太郎「われらの道場」高千穂精華会「キリストの復活」武田邦太郎「精華会の成立と使命(上)」柳田捷麿		活字	小泉菊枝「日蓮教より見たる人類史の大関節」、武田邦太郎「家永氏の誤謬」、武田邦太郎「御妙判要文信感(5)」、高千穂精華会「われらの道場」、武田邦太郎「キリストの復活」、柳田捷麿「精華会の成立と使命(上)」
297		王道文化第10巻2号 (復刊第7号・ No.273)	/精華会	昭和24年2月16 日	1冊(64 頁)	「入信の動機」曹寧柱「仏法と仏教と仏道」武田邦太郎「日蓮聖人の折伏」小泉菊枝「御妙判要文信感」(六)武田邦太郎「精華会の成立と使命(下)」柳田捷麿(紙芝居)大国聖日蓮上人(一)」神崎武雄		活字	曹寧柱「入信の動機」、武田邦太郎「仏法と仏教と仏道」、小泉菊枝「日蓮聖人の折伏」、武田邦太郎「御妙判要文信感(6)」、柳田捷麿「精華会の成立と使命(下)」、神崎武雄(紙芝居)大国聖日蓮上人(一)」
298		王道文化第10巻3号 (復刊第8号・ No.274)	/精華会	昭和24年4月16 日	1冊(64 頁)	「スト階級によせて立正安国を論ず」武田邦太郎「日蓮教と日本国」曹寧柱「御妙判要信感」(七)武田邦太郎「(讃歌)東海道往還」小泉菊枝「本化上行菩薩出現の予言」入江辰男「(紙芝居)大国聖日蓮上人」(二)神崎武雄		活字	武田邦太郎「スト階級によせて立正安国を論ず」、曹寧柱「日蓮教と日本国」、武田邦太郎「御妙判要信感(7)」、小泉菊枝「(讃歌)東海道往還」、入江辰男「本化上行菩薩出現の予言」、神崎武雄「(紙芝居)大国聖日蓮上人(2)」
299		王道文化第10巻4号 (復刊第9号・ No.275)	/精華会	昭和24年6月16 日	1冊(48 頁)	「入信の動機(二)」曹寧柱「マルクス宗攻究」(上)杉沼三郎「西山の聖日」駒瀬秀子「(紙芝居)大国聖日蓮上人(其三)神崎武雄		活字	曹寧柱「入信の動機(2)」、杉沼三郎「マルクス宗攻究(上)」、駒瀬秀子「西山の聖日」、神崎武雄(紙芝居)「大国聖日蓮上人(其3)」

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
300		王道文化第10巻6号 (復刊第11号・ No.277)	/精華会	昭和24年10月 16日	1冊(64 頁)	「世界の根本的革新(社会の部)」武田邦太郎「御妙判要文信感(十)」武田邦太郎「青蓮華咲きぬ」(第一回)小泉菊枝「私の信仰断想」岸本昌久(特集)「石原莞爾先生追弔記録」—「西山の涅槃経」小笠原日堂「御臨終」小野克枝「挽歌」水穂智彦「告别式」歌川平次郎「思い出の座談会」野呂欽一「茶毘式」淵上千津「挽歌」金子智一「四十九日忌と納骨」野呂欽一「きのこ二題」小泉菊枝		活字	武田邦太郎「世界の根本的革新(社会の部)」、武田邦太郎「御妙判要文信感(10)」、小泉菊枝「青蓮華咲きぬ」(1)、「(特集)石原莞爾先生追弔記録」(小笠原日堂「西山の涅槃経」、小野克枝「御臨終」、水穂智彦「挽歌」、歌川平次郎「告别式」、野呂欽一「思い出の座談会」、淵上千津「茶毘式」、金子智一「挽歌」、野呂欽一「四十九日忌と納骨」)
301		王道文化第11巻1号 (復刊第13号・ No.279)	/精華会	昭和25年2月16 日	1冊(64 頁)	「マルクス宗を救済せよ！」(下)「御妙判要文信感」武田邦太郎「無争の扉を開くもの—元旦もうでの感想—」杉沼三郎「鎌倉初期に於ける新興仏教の諸師に対する考察」(下)野呂欽一「作物栽培の手引」水越孝昌(Book Review)「石原莞爾序 山本勝之助著『日本を亡ぼしたものの—軍部独裁化とその崩壊過程—』」田中直吉		活字	曹寧柱「マルクス宗を救済せよ！」(下)、武田邦太郎「御妙判要文信感(12)」、杉沼三郎「無争の扉を開くもの」、野呂欽一「鎌倉初期に於ける新興仏教の諸師に対する考察(下)」、水越孝昌「作物栽培の手引」、田中直吉「書評 石原莞爾序 山本勝之助著『日本を亡ぼしたものの』」
302		王道文化第11巻2号 (復刊第14号・ No.280)	/精華会	昭和25年3月16 日	1冊(64 頁)	「日蓮聖人の宗教と基督教」山川智応「秋元御書〔御妙判要文信感—十三〕」武田邦太郎「マルクス主義の宗教観」(一)杉沼三郎「時評」柳田捷麿「寒行記」天涯子「青蓮華咲きぬ」(第四回)小泉菊枝「宿命」武田邦太郎		活字	山川智応「日蓮聖人の宗教と基督教」、武田邦太郎「御妙判要文信感(13)」、杉沼三郎「マルクス主義の宗教観(1)」、柳田捷麿「時評」、小泉菊枝「青蓮華咲きぬ(4)」、武田邦太郎「宿命」

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
303		王道文化第11巻3号 (復刊第15号・ No.281)	/精華会	昭和25年7月16 日	1冊(65 頁)	「日本をして世界平和の基 地たらしめよ」柳田捷麿 「世界史発展の方向(上)」 保坂富士夫「最終戦争は避 けられるか?」小泉菊枝 「農村恐慌の根本的克服」 武田邦太郎「時局経済の動 き」濱野一郎「動乱の朝鮮 を思う」森田芳夫「三十八 度線の炸裂」許利玉		活字	柳田捷麿「日本をして世界平和の基地たらしめよ」、保坂富士夫 「世界史発展の方向(上)」、小泉菊枝「最終戦争は避けられる か?」、武田邦太郎「農村恐慌の根本的克服」、森田芳夫「動乱の 朝鮮を思う」、許利玉「三十八度線の炸裂」。35頁に「石原莞爾先 生遺稿・精華会編纂『日蓮教入門』」の広告あり
304		王道文化第12巻2号 (復刊第17号・ No.283)	/精華会	昭和26年7月16 日	1冊(48 頁)	「七月の御書」桐原文夫 「日本をして世界平和の基 地たらしめよー講和を前 に、自衛・軍事基地等の諸 問題に就て、われらは斯く 思う」柳田捷麿「世界平和 か世界戦争か」若宮英伍郎 「世界経済の動向と日本」 宮崎正義「宗教の救済と宣 揚(上)」岸本昌久「菩薩さ ま」橋みちよ「心にひびく 声ー座談会で感じた話」別 枝星韻「奈良の半日ー法華 寺の十一面観音」莫染生		活字	柳田捷麿「日本をして世界平和の基地たらしめよ」、若宮英伍郎 「世界平和か世界戦争か」、宮崎正義「世界経済の動向と日本」、 岸本昌久「宗教の救済と宣揚(上)」、48頁に「石原莞爾遺著(精華会 編)日蓮教入門」の広告あり
305		王道文化第12巻3号 (復刊第18号・ No.284)	/精華会	昭和26年8月16 日	1冊(48 頁)	「八月の御書」所美登里 「日蓮聖人と現代」中島清 「いのちの尊さについて」 吉水美紗「『五百歳二 重』の信感をめぐる問題と 石原先生の追憶」柳田捷麿 「石原莞爾先生追憶の断 片」(座談会)別枝誕爾・保 坂富士夫・白土菊枝・岸本 昌久「未来への遠征」杉沼 三郎		活字	中島清「日蓮聖人と現代」、吉水美紗「いのちの尊さについて」、 柳田捷麿「『五百歳二重』の信感をめぐる問題と石原先生の追 憶」、別枝誕爾・保坂富士夫・白土菊枝・岸本昌久「石原莞爾先生 追憶の断片(座談会)」

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
306		王道文化 第12巻第4号	/精華会	昭和26年10月16日	1点(18頁)	「十月の御書-『転重経受法門』を中心として」白土菊枝「新しく仏教にふれる方々へ」所美登里「精華会運動の再出発に当りて」信野哲夫「精華会のあるべき姿のために」柳田捷磨		活字	白土菊枝「十月の御書-『転重経受法門』を中心として」、所美登里「新しく仏教にふれる方々へ」、信野哲夫「精華会運動の再出発に当りて」、柳田捷磨「精華会のあるべき姿のために」
307		王道文化第14巻1号(復刊第21号・No.287)	/精華会	昭和27年2月16日	1冊(48頁)	「世界絶対平和確立のための日蓮聖人の出現」柳田捷磨「世界の動きと日蓮聖人の予言」保坂富士夫「亡国の真因にふれたまえる御書」白土菊枝「SIGNAL」柳田捷磨「始めて仏教にふれる方へ(その3)南妙法蓮華経の成仏について」所美登里「救いへの献身」岸本昌久「日蓮経の科学的分析」原安彦		活字	柳田捷磨「世界絶対平和確立のための日蓮聖人の出現」、保坂富士夫「世界の動きと日蓮聖人の予言」、白土菊枝「亡国の真因にふれたまえる御書」、原安彦「日蓮経の科学的分析」。21頁に山口重次『悲劇の将軍 石原莞爾』、36頁に山形地方国土計画室編『最終戦争時代観』の新刊紹介あり
308		王道文化第14巻6号(復刊第26号・No.292)	/精華会	昭和27年11月16日	1冊(15頁)	「共産党が天下をとればー韓国動乱と北鮮の実相」曹寧柱		活字	曹寧柱「共産党が天下をとればー韓国動乱と北鮮の実相」
309		精華会会報第1号	/大阪市東区 大手前之町・偕行社 住宅45号・大原方 精華会中央事務所	昭和22年1月	1点(8頁)	「会報発行について 全国同志各位に告ぐ」精華会中央事務所代表者 大原華子、「各地区協議会報告」		活字	大原華子「会報発行について」、「各地区協議会報告」。創刊号にあたるもの。1頁上段に「精華会綱領」あり。非売品
310		精華会会報第2号	/大阪精華会	昭和22年3月20日	1点(8頁)			手書謄写	「非売品」
311		精華会会報第4号	/奈良市押上町高島方	昭和22年9月20日	1点(8頁)			手書謄写	各地の精華会の状況を記載
312		精華会々報第5号	/奈良市押上町 精華会中央連絡事務所	昭和22年10月15日	同一2点(各4頁)	「セイロン島伝説」(一門弟より藤井行勝氏への書簡)	ファイル 1点	手書謄写	「セイロン島伝説」(一門弟より藤井行勝氏への書簡)

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
313		精華会々報第6号	/奈良市押上町 精華会中央連絡事務所	昭和22年11月20日	1点(4頁)			手書謄写	
314		精華会会報第30号	/大阪市東区大手前之町 精華会中央事務所宣伝部	昭和26年5月20日	1点(4頁)			活字	「非売品」。西山精華会(石原絶対派)の脱会騒動に関する記事あり
315		精華会東北連絡版第1号	/宮城県亶理郡山下村高瀬館下 淵上辰雄方	昭和22年2月	1点(4頁)			手書謄写	精華会東北月例会第一回報告、精華会東北各地連絡所の記載あり。作成年は推定
316		精華会東北連絡版第2号		昭和22年4月	1点(2頁)			手書謄写	名木橋文弥(山形精華会)逝去の記事あり。作成年は推定
317		精華会東北連絡版第3号	/山形県飽海郡高瀬村西山農場内 武田邦太郎方	昭和22年5月18日	1点(2頁)			手書謄写	連絡事務所が、淵上方より武田方に移動した旨記載あり
318		精華会東北連絡版第4号		昭和22年8月3日	1点(4頁)			手書謄写	
319		精華会東北連絡版第5号		昭和22年9月18日	1点(4頁)			手書謄写	
320		精華会東北連絡版第6号	/山形県飽海郡高瀬村 武田邦太郎	昭和22年11月15日	1点(2頁)			活字	非売品
321		精華会東北連絡版第7号	/山形県飽海郡高瀬村 武田邦太郎	昭和22年12月15日	1点(2頁)			活字	非売品
322		精華会東北連絡版第8号	/山形県飽海郡高瀬村 武田邦太郎	昭和23年2月20日	1点(4頁)			活字	非売品
323		精華会東北連絡版第9号	/山形県飽海郡高瀬村 武田邦太郎	昭和23年2月25日	1点(4頁)			活字	非売品

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
324		青雲 第4号		昭和23年11月5日	1点(16頁)	「マルクス宗研究」(その2)杉沼三郎「牛歩の信仰」(2)熊谷千佳男「宗教の衣を着た偽善者たる勿*」天涯(随想)「職場から」(○警察記者コワヤコワヤの巻)熊谷千佳子男		手書謄写	表紙「石原莞爾様」と書き込みあり。杉沼三郎「マルクス宗研究(その2)」、熊谷千佳男「牛歩の信仰(2)」、天涯「宗教の衣を着た偽善者たる勿れ」、熊谷千佳男「(随想)職場から ○警察記者コワヤコワヤの巻」
325		青雲 第8号	/山形精華会		1冊(31頁)	「精華会運動番付」島山耕作「マルクス宗研究」(第六回)杉沼三郎「予言考察」水野胖		手書謄写	島山耕作「精華会運動番付」、杉沼三郎「マルクス宗研究」(第六回)、水野胖「予言考察」
326		青雲 第9号	/山形精華会	昭和23年4月1日	1冊(17頁)	「日蓮教研究」名木橋文弥「予言考察」水野胖「寸信抄」秋本信吾「マルクス宗考究」杉沼三郎「牛歩の信仰」熊谷千佳男		活字	名木橋文弥「日蓮教研究」、水野胖「予言考察」、秋本信吾「寸信抄」、杉沼三郎「マルクス宗考究」、熊谷千佳男「牛歩の信仰」
327		「牛歩の信仰(五)」	熊谷千佳男		1枚			手書謄写	「青雲」の一部と思われる
328		日蓮信仰と友人関係			1枚			手書謄写	「青雲」の一部、327の続きのものと思われる
329		山形精華 第2号	/山形精華会		1冊(20頁)			手書謄写	表紙に「山形精華会推進の言葉」あり。2項「参考文献・図書」に田中智学や石原莞爾の著作が並ぶ。
330		山形精華会々報 創刊	/山形精華会	昭和25年3月20日	1点(5頁)	「発刊を祝して」安中昌信「道の友へ」遠藤キミ「微笑」岡崎道子		手書謄写	安中昌信「発刊を祝して」、遠藤キミ「道の友へ」、岡崎道子「微笑」
331		山形精華会々報 2	/山形精華会	昭和25年5月31日	1点(4頁)	「田舎教師の夢の独白」稲村彰「道の友へ」(続)		手書謄写	1面に「聖訓」あり。稲村彰「田舎教師の夢の独白」、遠藤キミ「道の友へ(続)」
332		山形精華会々報 4	/山形精華会	昭和25年9月1日	1点(4頁)	「田舎教師の夢の独白」(3)稲村彰「煩悶」石黒辰雄		手書謄写	1面に「聖訓」あり。稲村彰「田舎教師の夢の独白(3)」、石黒辰雄「煩悶」、「月例会便り」
4. その他									
333		裏表紙		昭和25年8月15日	1枚			活字	「淵上辰雄」の印あり。「昭和25年8月15日発行 非売品 発行所 精華会中央事務所」とあるが、雑誌名は不明。石原一周忌にむけ刊行された書籍の一部。

二、日蓮教同志会

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
1. 刊行物									
334		日蓮聖人の予言 原子力戦争から永久平和の実現へ	/日蓮教同志会		1冊(16頁)			活字	末尾に参照文献として、石原莞爾「日蓮教入門」「戦争史大観」「マインカンブ・批判 新日本の建設」、武田邦太郎「日蓮教」、入江辰雄「仏教史と最終戦争」「協和党発行 石原主義入門」を列挙
2. 定期刊行物									
335		血脈 創刊号	/山形県飽海郡高瀬村西山農場内日蓮教同志会中央連絡事務所	昭和26年4月28日	1点(8頁)			活字	1項に日蓮教同志会名の「宣言」、4項に「日蓮教同志会規約」が記され、本文中に「宣言解説」あり
336		血脈 第2号	/山形県飽海郡高瀬村西山農場内日蓮教同志会中央連絡事務所	昭和26年5月28日	1点(8頁)	「米ソ戦争は最終戦争となるか」武田邦太郎「日蓮聖人御伝記」石原莞爾(遺稿)「日蓮聖人御遺文の研究」鈴木和子		活字	武田邦太郎「米ソ戦争は最終戦争となるか」、石原莞爾(遺稿)「日蓮聖人御伝記」、鈴木和子「日蓮聖人御遺文の研究」
337		血脈 第5・6合併号	/山形県飽海郡高瀬村西山農場内日蓮教同志会中央連絡事務所	昭和26年9月28日	1点(10頁)	「日本世界政策の基調」武田邦太郎「日蓮聖人伝覚え書」(四)石原莞爾(遺稿)「日蓮聖人御遺文の研究」手塚妙子		活字	武田邦太郎「日本世界政策の基調」、石原莞爾(遺稿)「日蓮聖人伝覚え書(四)」、手塚妙子「日蓮聖人御遺文の研究」。10項に日蓮教同志会「宣言」(昭和26年4月28日付)あり
338		血脈 第13号	/山形県飽海郡高瀬村西山農場内日蓮教同志会中央連絡事務所	昭和27年4月28日	1点(8頁)	「宗教と政治」武田邦太郎「日蓮聖人御遺文の研究」鈴木末治		活字	武田邦太郎「宗教と政治」、鈴木末治「日蓮聖人御遺文の研究」。4項から「石原莞爾遺著『日蓮教入門』の解説(一)」、8項に「石原將軍遺著刊行」の広告あり。
339		血脈 第18号	/山形県飽海郡高瀬村西山日蓮教同志会中央連絡事務所	昭和27年9月28日	1点(8頁)	「九月十二日を迎えて」武田邦太郎「何故アメリカは第三次大戦に敗れつつあるか」(上)ボリス・シユラブ		活字	武田邦太郎「九月十二日を迎えて」、ボリス・シユラブ「何故アメリカは第三次大戦に敗れつつあるか(上)」。6項から「石原莞爾遺著『日蓮教入門』の解説(五)」あり

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
340		血脈 第19号	/山形県飽海郡高瀬村西山日蓮教同志会中央連絡事務所	昭和27年10月28日	1点(8頁)	「石原莞爾にきくべきだ」石原六郎 「何故アメリカは第三次大戦に敗れつつあるか」(中)ボリス・シュラブ		活字	石原六郎「石原莞爾にきくべきだ」、ボリス・シュラブ「何故アメリカは第三次大戦に敗れつつあるか(中)」。7項から「石原莞爾遺著『日蓮教入門』の解説」、8項に「石原將軍遺著刊行」の広告あり
341		血脈 第20号	/山形県飽海郡高瀬村西山日蓮教同志会中央連絡事務所	昭和27年11月28日	1点(8頁)	「国体政治の確立」淵上千津 「何故アメリカは第三次大戦に敗れつつあるか」(下)ボリス・シュラブ		活字	淵上千津「国体政治の確立」、ボリス・シュラブ「何故アメリカは第三次大戦に敗れつつあるか(下)」。6頁に石原莞爾遺著『日蓮教入門』の解説」、7頁から「協和党からネル首相にメッセージ」あり。
342		血脈 第21・22合併号	/山形県飽海郡高瀬村西山日蓮教同志会中央連絡事務所	昭和28年1月20日	1点(4頁)	「病床にて」桐谷誠 「日蓮聖人御遺文の研究」鈴木末治		活字	3頁から6頁のみ。桐谷誠「病床にて」、鈴木末治「日蓮聖人御遺文の研究」。5項から「石原莞爾遺著『日蓮教入門』の解説」あり
343		血脈 第23・24合併号	/山形県飽海郡高瀬村西山日蓮教同志会中央連絡事務所	昭和28年3月28日	1点(4頁)	「どんな人を選挙すべきか」入江辰雄 「生活そのものの力によって」歌川平次郎		活字	入江辰雄「どんな人を選挙すべきか」、歌川平次郎「生活そのものの力によって」。4頁に「武田邦太郎氏 参議院全国区に立候補」とあり
344		血脈 第25・26合併号	/山形県飽海郡高瀬村西山日蓮教同志会中央連絡事務所	昭和28年5月28日	1点(8頁)	「日本皇太子」武田邦太郎		活字	武田邦太郎「日本皇太子」。6項から「石原莞爾遺著『日蓮教入門』の解説」、8頁に「石原將軍遺著」の広告あり。「進撃」欄にて武田邦太郎選挙戦敗北の分析あり。
345		血脈 第27・28合併号	/山形県飽海郡高瀬村西山日蓮教同志会中央連絡事務所	昭和28年7月28日	1点(8頁)	「日本の貞操」武田邦太郎 「背教者マレンコフとソ連独裁制の変貌」広安春三		活字	武田邦太郎「日本の貞操」、広安春三「背教者マレンコフとソ連独裁制の変貌」。7項から「石原莞爾遺著『日蓮教入門』の解説」、8頁に石原記念館代表の和田勤辞任の告知あり
346		血脈 第29・30合併号	/山形県飽海郡高瀬村西山日蓮教同志会中央連絡事務所	昭和28年9月28日	1点(8頁)	「直接侵略を恐れるな」武田邦太郎		活字	武田邦太郎「直接侵略を恐れるな」。4頁に「石原先生遺著」の広告、7項から「石原莞爾遺著『日蓮教入門』の解説」あり

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
347		血脈 第32号	/山形県飽海郡高瀬村西山日蓮教同志会中央連絡事務所	昭和28年11月28日	1点(8頁)	「戦争の危機は遠ざかるはずなし」武田邦太郎		活字	武田邦太郎「戦争の危機は遠ざかるはずなし」。6項から「石原莞爾遺著『日蓮教入門』の解説」あり
348		血脈 第33号	/山形県飽海郡高瀬村西山日蓮教同志会中央連絡事務所	昭和28年12月28日	1点(8頁)	「奮いたて 平和の戦に！」武田邦太郎「元作戦課長の愚論」広安春三		活字	武田邦太郎「奮いたて 平和の戦に！」、広安春三「元作戦課長の愚論」。6項から「石原莞爾遺著『日蓮教入門』の解説」あり
349		血脈 第37号	/山形県飽海郡高瀬村西山日蓮教同志会中央連絡事務所	昭和29年4月28日	1点(8頁)	「思想信仰の統一」武田邦太郎「謹で日本国の天皇陛下へ奉るの書」エム・ダルメスワル		活字	武田邦太郎「思想信仰の統一」、エム・ダルメスワル「謹で日本国の天皇陛下へ奉るの書」。7項から「石原莞爾遺著『日蓮教入門』の解説」あり
350		血脈 第39号	/山形県飽海郡高瀬村西山日蓮教同志会中央連絡事務所	昭和29年6月28日	1点(8頁)	「水爆と救済」武田邦太郎「仏教史と最終戦争(六)」入江辰雄		活字	7頁から8頁は一部破損。武田邦太郎「水爆と救済」、入江辰雄「仏教史と最終戦争(六)」6項から「石原莞爾遺著『日蓮教入門』の解説」あり
351		血脈 第41号	/山形県飽海郡高瀬村西山日蓮教同志会中央連絡事務所	昭和29年8月28日	1点(8頁)	「水爆を超えて」武田邦太郎「日輪講堂の完成に一段の御協力を願う」遠藤甚吉「仏教史と最終戦争(八)」入江辰雄		活字	武田邦太郎「水爆を超えて」、遠藤甚吉「日輪講堂の完成に一段の御協力を願う」、入江辰雄「仏教史と最終戦争(八)」。6項から「石原莞爾遺著『日蓮教入門』の解説」、7項に石原莞爾著作集の広告あり
352		血脈 第45号	/山形県飽海郡高瀬村西山日蓮教同志会中央連絡事務所	昭和29年12月28日	1点(8頁)	「燈火をかざす人」武田邦太郎		活字	「燈火をかざす人」武田邦太郎。6項から「石原莞爾遺著『日蓮教入門』の解説」あり
353		血脈 第46号	/山形県飽海郡高瀬村西山日蓮教同志会中央連絡事務所	昭和30年8月28日	1点(8頁)	「石原先生の七周忌を迎えて」武田邦太郎		活字	武田邦太郎「石原先生の七周忌を迎えて」。4頁から「石原莞爾遺著『日蓮教入門』の解説」あり。5頁下段に「再刊のはこびとなった」旨の「お知らせ」あり

三、その他

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
354		男女同権－女人成仏に就て－	泉たま子		1枚(4頁)	印刷物の一部、5頁から8頁のみ。国柱会関係		活字	印刷物の一部、5～8頁のみ。国柱会関係
355		芽生		昭和25年2月16日	1冊(6頁)			タイプ謄写	詩集
356		宝珠 連絡版第2号			1冊(14頁)			手書謄写	後の部分欠落、破損若干あり。白土菊枝「ふるき花園にて」
【石原莞爾関係】									
430		二・二六事件と海軍 －加藤寛治大将への 疑惑－ [...]							
432		二・二六事件と石原 莞爾 [...]							
一、石原著作									
1. 単行本									
357		戦争史大観	石原莞爾		1冊(8頁)			活字	付録として近世戦争進化景況一覧表あり。「昭和四年七月長春二於ケル講話要領」を基礎とする。
358		「協会運動要領」について	石原莞爾	昭和16年10月	1冊(44頁)	昭和16年10月5日、中央参与会員第二回全国会議に於ける顧問石原莞爾中将の講演速記。		活字	表紙に協会の「宣言」が記載され、裏表紙に協会規約(9ヶ条)を記載。第二回全国会議の顧問石原莞爾中将による講演速記。
359		石原莞爾將軍講述	石原莞爾口述・高木清寿編	昭和19年	1冊(66頁)			活字	石原莞爾「『国民社会主義ドイツ労働党』初期の運動」(昭和19年1月開催の同志会関東地区講習会における講演を整理したもの)に表紙をつけ、左記タイトル、筆者名が記される。傍線書き込みあり。表紙に「高木」の判あり。
360		昭和維新論	石原莞爾/同志会	昭和20年10月20日	1冊(49頁)			活字	
361		新日本の建設	石原莞爾/東亜連盟同志会関西事務所	昭和20年10月	1冊(46頁)			活字	非売品。表紙に「20. 10」「○国体は信仰である」と書き込みあり。

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
362		新日本の道標	石原莞爾		同一2点 (16頁)	石原莞爾談話集-「理想日本の構想」『週刊毎日』昭和20年11月18日「満州事変の真相」対談・宋徳和『揚子江』第78号「敗戦日本の辿るべき道標」『読売報知』昭和21年8月21日「世界文化の達観」『毎日新聞』昭和20年8月28日		活字	2点のうち1点には、欠項部分あり。石原莞爾談話集-「理想日本の構想」（『週刊毎日』掲載）、対談「満州事変の真相」（『揚子江』掲載）、「敗戦日本の辿るべき道標」（『読売報知』掲載）、「世界文化の達観」（『毎日新聞』掲載）。
363		新日本の進路 石原莞爾将軍の遺書	石原莞爾	昭和24年8月10日	1冊(24頁)			活字	表紙に「24、8、10」と書き込みあり
364		戦争史大観(附 新日本の進路)	石原莞爾/同志会	昭和27年12月5日	1冊(32頁)			活字	表紙に「S、27、12、」と書き込みあり。
2. 未刊行									
365		新体制と東亜連盟	石原莞爾	昭和15年10月17日	1冊(37頁)	「一 新体制 二 東亜連盟」		タイプ謄写	昭和会館での講演。赤インク書き込みあり。「一 新体制 二 東亜連盟」。詳細は野村乙二郎編『東亜連盟期の石原莞爾資料』663項参照
366		新日本建設大綱	石原莞爾		1冊(29頁)	「第一 世界観」「第二 国土の新建設」「第三 政治組織の結成」「第四 教育の革新」「第五 新しき東亜」	ファイル 1点	手書謄写	赤鉛筆書き込みあり。後に出版されたものでは削除されている部分も残る。「第一 世界観」「第二 国土の新建設」「第三 政治組織の結成」「第四 教育の革新」「第五 新しき東亜」。
367		協和会東京事務所の任務について	石原莞爾	昭和14年8月14日	38枚			タイプ謄写	石原莞爾全集別巻により、昭和14年8月14日の講演原稿と判明。ただし同書で削除されている部分も残る。
368		歩兵四聯隊長の日記	石原莞爾		1点(34頁)			手書き青焼き	昭和8年9月11日から昭和10年8月6日までを筆写したもののコピー
369		国防論	石原莞爾		4枚			手書謄写	表紙に、「東方会パンフレット国増三ノ三 国民講習会用」「講師 石原莞爾」とあり。
370		われらの世界観	/国民党本部	昭和22年12月15日	1冊(74頁)	「第一章 敗戦によって強制せられるもの」「第二章 新日本の進むべき道」「第三章 建設方式」「第四章 吾党の主張」「第五章 運動方針」	封筒1点	活字	「第一章 敗戦によって強制せられるもの」「第二章 新日本の進むべき道」「第三章 建設方式」「第四章 吾党の主張」「第五章 運動方針」。表紙に「三〇・五・二五」付で、「田村さんへ」と題した石原六琅署名の書き込みあり。本文にも内容訂正の書き込みあり。
371		我等の世界観	石原莞爾		1冊(32枚)			ペン	表紙にペン書きで「我等の世界観 石原莞爾」とあり。「われらの世界観」のもとになった石原莞爾の文章と思われる。

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
372		われらの世界観ノート			1冊(48頁)			手書謄写	表紙に「秘 新日本建設基礎資料」、裏表紙に「高島彌」と書き込みあり
373		我等之世界観		昭和21年7月	1冊(51頁)			タイプ	表紙に「我等之世界観 昭和二十一年七月述」とあり。出版された「われらの世界観」とは細部が異なる。
3. 刊行物									
374		ドイツ駐在武官赴任日記(一)(大正十二年一月から二月十二日)	石原莞爾		5枚			活字(電子式複写)	掲載誌不明
375		現役を去るに臨んで	石原莞爾	昭和28年4月	2枚	昭和16年3月、現役を去るにあたっての石原莞爾の挨拶状。		活字(電子式複写)	「共通の広場、28年4月号(2巻4号)」と書き込みあり。昭和16年3月、現役を去るにあたっての石原莞爾の挨拶状。
376		政治団体への進展	石原莞爾	昭和19年11月	10枚			活字(電子式複写)	原文は「運動方針の検討」が主題で「政治団体への進展」は副題、昭和19年11月15、6、7に開催された講演会の講義案だろうという編集部注記あり
377		国際軍事裁判酒田法廷記録(一)―宣誓口述書より―	石原莞爾		15枚			活字(電子式複写)	掲載誌不明。傍線書き込みあり。
二、石原莞爾全集関係									
378		石原莞爾全集第二期刊行に際して、刊行会会員皆さまへのご報告―第二期第一巻刊行ニュースに代えて―	石原莞爾全集刊行会代表者・白土菊枝	昭和59年11月11日	1冊(8枚)	外山卯三郎氏との石原莞爾全集著作権問題について		ワープロ(電子式複写)	
379		規約	石原莞爾全集刊行会		1冊(11頁)			活字	388と同一
380		白土菊枝書簡・相馬大作宛	石原莞爾全集刊行会代表者・白土菊枝	昭和55年9月23日	1綴(24枚)	石原コレクションの返還問題に関するトラブルについて		手書(電子式複写)	相馬は酒田市長。石原コレクションの返還問題に関するトラブルについて。末尾に「『石原莞爾全集』をつくる」と題した白土菊枝署名の『史誌』(昭和51年7月号)掲載記事のコピーが付けられる。
381		Aグループ資料目次			1枚	以下7通分の資料の資料(書簡)名・執筆年月日一覧		手書(電子式複写)	以下7通分の資料の資料(書簡)名・執筆年月日一覧

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
382		白土菊枝あて書簡	武田邦太郎	昭和55年7月21日	13枚		Aグループ資料1(該当部分についての注意書き 縦書き便箋 手書き(コピー) 4枚 赤書き入れあり	手書(電子式複写)	
383		Aグループ資料2 [...]							
	1	Aグループ資料2			2枚			手書(電子式複写)	赤鉛筆傍線書き込みあり
	2	ごあいさつ	石原莞爾全集刊行会代表・白土菊枝	昭和51年2月15日		石原莞爾全集発足時のあいさつ		活字	石原莞爾全集発足時のあいさつ
384		規約	石原莞爾全集刊行会		1冊(11頁)			活字	383と同一
385		刊行の趣旨 [...]							
	1	刊行の趣旨	白土菊枝	昭和51年3月10日	1枚			活字(電子式複写)	
	2	石原莞爾全集・すいせんのことば	淡谷悠蔵・市川房枝・菅原道大・菅谷正貴・鈴木安蔵・米田勝安		1枚	「時代解明の新しい鍵として」淡谷悠蔵 「すいせんのことば」参議院議員・市川房枝 「推薦の言葉」元陸軍中将・菅原道大 「混迷の中から未来への展望を」立正大学々長・菅谷正貴 「全集刊行に寄せて」法学博士・鈴木安蔵 「現代知識人の聖書として」平田神社役員総代、日本管材株式会社専務取締役・米田勝安		活字(電子式複写)	淡谷悠蔵、参議院議員・市川房枝、元陸軍中将・菅原道大、立正大学々長・菅谷正貴、法学博士・鈴木安蔵、日本管材株式会社専務取締役・米田勝安の推薦の言葉あり
386		Aグループ資料3 [...]							
	1	Aグループ資料3			1枚			手書(電子式複写)	以下の委任状と並べてコピー、2つ折り、ホチキス止め

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
	2	白土菊枝委任状	国府康敬	昭和51年6月5日		(委任内容)「石原莞爾所蔵の書籍、記録、文書等を国会図書館に寄贈するに必要な一切の行為」		手書(電子式複写)	(委任内容)「石原莞爾所蔵の書籍、記録、文書等を国会図書館に寄贈するに必要な一切の行為」
387		Aグループ資料4 [...]							
	1	Aグループ資料4			2枚			手書(電子式複写)	赤線書き込みあり。3項目は以下の委任状と並べてコピー、ホチキス止め
	2	弁護士富川信寿代理人委任状	国府康敬	昭和51年8月25日		(委任内容)「故石原莞爾著書の一切を国会図書館に有償譲渡に伴う代金受領、相続権者に右代金配分に関する件、右に伴う相続税、譲渡所得税等支払に関する件等」		手書き(電子式複写)	(委任内容)「故石原莞爾著書の一切を国会図書館に有償譲渡に伴う代金受領、相続権者に右代金配分に関する件、右に伴う相続税、譲渡所得税等支払に関する件等」
388		Aグループ資料5 [...]							
	1	Aグループ資料5			1枚			手書(電子式複写)	赤線書き込みあり。以下の委任状と並べてコピー、ホチキス止め
	2	白土菊枝委任状	国府康敬	昭和51年8月30日		(委任内容)「石原莞爾所蔵の書籍文書等を国立国会図書館に寄託することに必要な一切の行為」		手書(電子式複写)	(委任内容)「石原莞爾所蔵の書籍文書等を国立国会図書館に寄託することに必要な一切の行為」
389		Aグループ資料6 [...]							
	1	Aグループ資料6			2枚			手書(電子式複写)	赤線書き込みあり。委任状と並べてコピー、以下の資料と一緒にホチキス止め。
	2	白土菊枝委任状	国府康敬	昭和51年8月25日		(委任内容)「故石原莞爾の著作権を正しく行使し、故人の名誉と面目を維持するために私の相続する右一切の権限の行使を委任」		手書(電子式複写)	(委任内容)「故石原莞爾の著作権を正しく行使し、故人の名誉と面目を維持するために私の相続する右一切の権限の行使を委任」

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
	3	白土菊枝・石原莞爾全集刊行会あて書簡	国府康昌	昭和53年3月29日		国府康敬、3月20日死去についての通知。石原莞爾全集に関して今後、印税等ある場合は石原莞爾全集刊行会の諸経費に充当するようとりはからうようにとの依頼内容。		手書(電子式複写)	国府康敬、3月20日死去についての通知。石原莞爾全集に関して今後、印税等ある場合は石原莞爾全集刊行会の諸経費に充当するようとりはからうようにとの依頼内容。
390		Aグループ資料7 [...]							
	1	Aグループ資料7			7枚			手書(電子式複写)	赤線書き込みあり。以下の資料と一緒にホチキス止め
	2	鶴田市長・酒田市長あて書簡	武田邦太郎	8月31日		ナポレオン文献の寄贈問題について		手書(電子式複写)	1枚目右上に「写」の字あり。ナポレオン文献の寄贈問題について
391		Bグループ資料目次			1枚			手書(電子式複写)	以下15通分の資料の資料名(書簡名)、執筆年月日一覧。赤線書き込みあり
392		Bグループ資料1			1枚			手書(電子式複写)	Bグループ資料1として「石原莞爾全集第一巻編集後記」とあるが、欠如
393		Bグループ資料2		昭和51年3月28日	2枚	昭和51年3月28日、外山卯三郎宅への第一回訪問(訪問者―石原莞爾全集刊行会代表者・白土菊枝、監査役同兼任編集委員・高屋格夫、同・藤岡留吉、同・藤岡克枝、同・白土みどり、編集委員・林田重正)時に録音したテープより採録として、「石原コレクションに関するもの」、「石原莞爾全集に関するもの」についての外山氏の言葉を引用		手書(電子式複写)	昭和51年3月28日、外山卯三郎宅への第一回訪問の録音採録(訪問者―白土菊枝、高屋格夫、藤岡留吉、藤岡克枝、白土みどり、林田重正)。「石原コレクションに関するもの」、「石原莞爾全集に関するもの」について
394		Bグループ資料3 [...]							
	1	Bグループ資料3			1枚			手書(電子式複写)	赤線書き込みあり、以下の資料と一緒にホチキス止め
	2	林田重正書簡・白土菊枝、みどり宛	林田重正	昭和51年6月5日	2枚	6月27日の外山訪問に関する連絡		手書(電子式複写)	6月27日の外山訪問に関する連絡

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
395		Bグループ資料4		昭和51年6月27日	1枚	昭和51年6月27日、外山氏宅第二回訪問時における録音採録(訪問者-白土菊枝、藤岡留吉、白土みどり、林田重正)、(採録内容)「資料を見たい、遺族の同意書もしくは委任状がほしい」等の国会図書館からの要求に対する外山卯三郎の言葉		手書(電子式複写)	赤線書き込みあり。外山氏宅第二回訪問時における録音採録(訪問者-白土菊枝、藤岡留吉、白土みどり、林田重正)、(採録内容)「資料を見たい、遺族の同意書もしくは委任状がほしい」等の国会図書館からの要求に対する外山卯三郎の言葉
396		Bグループ資料5 [...]							
	1	Bグループ資料5			1枚			手書(電子式複写)	赤線書き込みあり。以下の資料と一緒にホチキス止め
	2	林田重正書簡・白土菊枝、みどり宛	林田重正	昭和51年8月7日	1枚	刊行会常任編集委員の解任依頼とその理由の説明		手書(電子式複写)	赤線書き込みあり。刊行会常任編集委員の解任依頼とその理由の説明
397		Bグループ資料6 [...]							
	1	Bグループ資料6			1枚			手書(電子式複写)	赤線書き込みあり。以下の資料と並べてコピー、ホチキス止め。「外山氏が権限を委任したという通知書です。白土はすぐこの旨を林田・高屋両氏に連絡」とあり、白土あての書簡と分かる。
	2	外山卯三郎書簡・白土菊枝宛	外山卯三郎	昭和51年9月24日		「石原莞爾全集の第四巻、五巻、六巻の印税及び運動の紙型代金、第五巻第二部の紙型代金は造形美術協会の支払にあてることになったので、同協会の経理に権限を委任」とあり		手書(電子式複写)	余白部右上に「乙第二号証の二」とあり。「石原莞爾全集の第四巻、五巻、六巻の印税及び運動の紙型代金、第五巻第二部の紙型代金は造形美術協会の支払にあてることになったので、同協会の経理に権限を委任」とあり
398		Bグループ資料7 [...]							
	1	Bグループ資料7		昭和53年10月	1枚			手書(電子式複写)	以下の資料と一緒にコピー、ホチキス止め。398-2に対し「これは外山氏から法廷に提出されたもの」とある
	2	林田重正書簡・外山卯三郎宛	林田重正	昭和51年10月7日	1枚			手書(電子式複写)	余白部左上に「甲第四号証ノ二」とあり
399		Bグループ資料8 [...]							

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
	1	Bグループ資料8			2枚			手書(電子式複写)	赤線書き込みあり。3項目は以下の資料と並べてコピー、一緒にホチキス止め。399-2に対し「外山氏から53・10月法廷に提出されたもの」とある
	2	林田重正書簡・外山卯三郎宛	林田重正	昭和51年10月15日		「石原全集五巻(七年戦争)の製本、今日辺り完成の筈なので、完成したものとして印税請求をしてもよいと思う、司印刷所は弁護士に事件を一任、証拠書類も揃っている、司印刷の完勝と思われる」等の内容		手書(電子式複写)	用紙余白左上に「甲第五号証ノ二」とあり。「石原全集五巻(七年戦争)の製本、今日辺り完成の筈なので、完成したものとして印税請求をしてもよいと思う、司印刷所は弁護士に事件を一任、証拠書類も揃っている、司印刷の完勝と思われる」等の内容。
400		Bグループ資料9 [...]							
	1	Bグループ資料9			2枚			手書(電子式複写)	赤線書き込みあり。3項目に以下400-2書簡に対する白土菊枝の返事(10月31日付け)(うつしコピー)が添えられる、ホチキス止め
	2	林田重正氏書簡・白土菊枝、みどり宛	林田重正	昭和51年10月26日		「全集刊行に際し、預かったものを返却する」等の内容		手書(電子式複写)	赤線書き込みあり。「全集刊行に際し、預かったものを返却する」等の内容。
401		Bグループ資料10 [...]							
	1	Bグループ資料10			1枚			手書(電子式複写)	赤線書き込みあり。以下の資料と一緒にコピー、ホチキス止め
	2	石原莞爾刊行会宛請求書	社団法人造型美術協会	昭和51年12月1日		外山氏の印税、紙型代の代理受領を委任されたとする請求書		手書(電子式複写)	外山氏の印税、紙型代の代理受領を委任されたとする請求書
402		Bグループ資料11 [...]							
	1	Bグループ資料11			1枚	タイトルのみ		手書(電子式複写)	以下の資料と一緒にホチキス止め

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
	2	書簡	造型美術協会代表理事 砂田卓	昭和52年4月2日	1枚	内容は「催告人は外山卯三郎氏より『石原莞爾全集』に関する著作権及び紙型を譲り受け、その正当な権利者であること、第四巻ないし第六巻に対する印税代金と第五巻、別巻に対する紙型代金の支払を願いたい、支払ないときは成規の手続きをもって請求に及ぶこと」等		手書(電子式複写)	赤線書き込みあり。「催告人は外山卯三郎氏より『石原莞爾全集』に関する著作権及び紙型を譲り受け、その正当な権利者であること、第四巻ないし第六巻に対する印税代金と第五巻、別巻に対する紙型代金の支払を願いたい、支払ないときは成規の手続きをもって請求に及ぶこと」等。
403		Bグループ資料12 [...]							
	1	Bグループ資料12			1枚			手書(電子式複写)	赤書き込みあり。以下の資料と並べてコピー、ホチキス止め
	2	起訴状	外山卯三郎	昭和52年6月7日		事件番号昭和52年(7)第5162号、内容は「石原莞爾刊行会こと白土菊枝あて、原告社団法人造型美術協会代表者外山卯三郎から訴状が提出されたので、9月2日、午前10時に当裁判所民事第8号法廷に出頭のこと」		手書(電子式複写)	事件番号昭和52年(7)第5162号、内容は「石原莞爾刊行会こと白土菊枝あて、原告社団法人造型美術協会代表者外山卯三郎から訴状が提出されたので、9月2日、午前10時に当裁判所民事第8号法廷に出頭のこと」
404		Bグループ資料13 [...]							
	1	Bグループ資料13			2枚			手書(電子式複写)	赤線書き込みあり。以下の資料と一緒にホチキス止め。
	2	答弁書		昭和54年1月18日	2枚	被告(白土菊枝)代理人弁護士・芹沢孝雄/相磯まつ江から東京地方裁判所民事第一二部あて準備書面		活字(電子式複写)	赤線書き込みあり。後半欠。被告(白土菊枝)代理人弁護士・芹沢孝雄/相磯まつ江から東京地方裁判所民事第一二部あて準備書面
405		Bグループ資料14			3枚			手書(電子式複写)	

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
406		昭和54年9月6日準備手続きにおける裁判官のお尋ねに対する石原莞爾全集刊行会のお答	石原莞爾全集刊行会代表者 白土菊枝	昭和54年9月18日	18枚			手書(電子式複写)	末尾に「昭和54年9月18日記 同9月21日提出」「裁判官殿」と記される
407		Bグループ資料15 [...]							
	1	Bグループ資料15			7枚			手書(電子式複写)	傍線書き込みあり。以下の資料と合わせてコピー、ホチキス止め
	2	外山卯三郎氏問題について		昭和52年9月末頃		52年6月7日、外山氏から起訴された後、弁護士に提出したもの(外山氏の詐欺的行為について)		手書(電子式複写)	傍線、赤線書き込みあり。昭和52年6月7日、外山氏から起訴された後、弁護士に提出したもの(外山氏の詐欺的行為について)
408		結論			2枚	筆者不明だが、石原コレクションについて、「故康敬氏の意志を生かし、またおさまるべき所に収めたいという外山氏未亡人のご意向を生かし、石原門下の念願を生かすためには酒田市に『寄託』の形で整理公開して頂くのが一番よいことではないかと存じて居」とあり		手書(電子式複写)	石原コレクションについて、「故康敬氏の意志を生かし、またおさまるべき所に収めたいという外山氏未亡人のご意向を生かし、石原門下の念願を生かすためには酒田市に『寄託』の形で整理公開して頂くのが一番よいことではないか」とあり
三、石原関係出版物									
409		「『東亜連盟』誌上の石原莞爾」(昭和14年11月号～昭和20年10月号)			1冊(12頁)	機関誌『』誌上掲載の石原莞爾の動勢	ボール紙(白)1枚 二つ折(墨書きで「石原コレクションに関する資料」とあり)	手書(電子式複写)	機関誌『』誌上掲載の石原莞爾の動勢。1項目の記述から、全集刊行後の執筆であることが分かる。
410		石原莞爾序 山本勝之助著 日本を亡ぼしたもの			1冊(5頁：以降欠如)			活字(電子式複写)	副題に「一の一節より一」とあり(同書は昭和24年9月15日。彰考書院発行)
411		石原莞爾と東条英機	田中新一/文芸春秋社	昭和41年1月	1冊(9頁)	『文芸春秋』昭和41年1月号		活字(電子式複写)	筆者は元陸軍作戦部長・中将。『文芸春秋』昭和41年1月号。

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
412		小伝・石原莞爾	秦郁彦	昭和38年8月～ 昭和39年1月	1冊(37 頁)	『自由』昭和38年8月号～ 39年1月号連載記事(連載4 回分)		活字(電子式 複写)	雑誌原題は「参謀・石原莞爾」。『自由』昭和38年8月号～39年1月 号連載記事(連載4回分)
413		石原莞爾関係原稿			29枚		ファイル 1点	ワープロ	一、石原莞爾に関する書籍原稿(79頁から104頁のワープロ原稿。 書名不明。)二、藤田九一郎『在満五十年・奉天日本人の史(第二 部)』「目次」相当のワープロ原稿2枚。三、「『在満五十年・奉天 日本人の史(第二部)』(藤田九一郎著)刊行のお知らせ」(大湊書房 拝)
	1	一、石原莞爾に関する 書籍ワープロ原稿 (79頁から104頁)				103頁から104頁に「目 次」(第一章『山紫に水清 き 仙台陸軍幼年学校史』に 見る石原莞爾)、第二章 『石原莞爾の幼年校時代』 菅原道大著、第二章『運動 と満州青年聯盟の運動につ いて』高須祐三著、第四章 『神田正種と石原莞爾』神 田正種著、第五章『『歩兵 第四聯隊史』に見る石原莞 爾』、第六章『歩兵第四聯 隊長日記』石原莞爾著、第 七章『『昭和特高弾圧史 7』に見る弾圧の理由』、 第八章『運動の思い出』佐 藤寛治著、第九章『軍の異 端者・石原莞爾の経綸』田 中久著)、ファイルには 第八章6『特高・憲兵との 接触』後半以降が収録			
	2	二、「在満五十年・ 奉天日本人の史(第二 部)」(藤田九一郎著) 「目次」相当分のワ ープロ原稿2枚。							

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
	3	三、「『在満五十年・奉天日本人の史(第二部)』(藤田九一郎著)刊行のお知らせ」(大湊書房 拝)							
414		石原莞爾年表	横山臣平/芙蓉書房	昭和46年	1枚	「秘録・石原莞爾」付録の年表コピー		活字(電子式複写)	以下の資料はバラの状態でファイルにはさまる。四つ折紙裏に「石原莞爾年表 横山臣平氏」と記される。横山臣平『秘録・石原莞爾』の年表コピー。
415		石原莞爾と日米戦争	岡田益吉	昭和29年4月1日	5枚			活字(電子式複写)	「曙、29年4月1日(第3巻第4号)」と書き込みあり
416		秩父宮の胸のうちー二・二六事件の盲点(6)	新井勲(元陸軍中將)	昭和48年7月	2枚	二・二六事件に際しての安藤と秩父宮の動きについて		活字(電子式複写)	「史、48、7月 23号」と書き込みあり。二・二六事件に際しての安藤と秩父宮の動きについて。
417		関東軍と石原莞爾	高木清寿(元常任委員)	昭和44年3月、4月	3枚			活字(電子式複写)	「史、44、3月 10号 4月 11号」と書き込みあり。傍線書き込みあり
418		綸言汗の如し	吉田正一(日本警備保障取締役)	昭和47年11月	2枚	明治以降の天皇の綸言を追い、昭和の変遷とともに、「慎むべし」から「みだりに出すべからず」、「綸言如汗」の考え方に変わっていった経緯を述べる、		活字(電子式複写)	「史 47年11月 21号」と書き込みあり。傍線書き込みあり。明治以降の天皇の綸言を追い、昭和への変遷とともに、「慎むべし」から「みだりに出すべからず」、「綸言如汗」の考え方に変わっていった経緯を述べる、
419		君側に人を得る	寺師陸済	昭和42年5月	1枚	昭和期の天皇側近について		活字(電子式複写)	「史、42、5月、6号」と書き込みあり。傍線書き込みあり。昭和期の天皇側近について。
420		石原将軍の終戦処理案	山口重次(元牡丹江省次長)	昭和50年9月	2枚	「満州国防の強化」の件(関東軍若手参謀→山口→中山→石原→本庄→阿南)及び、「重慶政府の休戦申し込みの件」(中山→山口→石原→本庄→阿南)について、後者を中心に述べ、「阿南は無条件降伏に最後まで反対だった」という噂を肯定		活字(電子式複写)	「史、50、9月 29号」と書き込みあり。「満州国防の強化」の件及び、「重慶政府の休戦申し込みの件について、後者を中心に述べ、「阿南は無条件降伏に最後まで反対だった」という噂を肯定
421		終戦後の石原将軍 [...]							

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
	1	終戦後の石原將軍	曹寧柱	昭和28年4月1日	1冊(24枚)			活字(電子式複写)	「共通の広場 28年4月号(2巻4号)」と書き込みあり
	2	恐るるはただ神と正義のみ	武田邦太郎	昭和28年4月1日		晩年の石原莞爾について		活字(電子式複写)	「『共通の広場』28年4月1日、第二巻四号」とボールペン(黒)書き込みあり。末尾に(二八・二・一六)とあり。傍線等書き込みあり。(以下13件、101頁から118頁まで連続頁) 晩年の石原莞爾について。
	3	満州時代の石原・東条	大迫通貞	昭和28年4月1日				活字(電子式複写)	
	4	面従腹背の徒	柴一貫	昭和28年4月1日		支那事変不拡大方針が破れたことを「面従腹背の徒にやられた」と回想する「近衛日記」記載の石原の言を挙げ、「面従腹背の徒」は「石原も含む日本人全体のナショナリズム」と述べる		活字(電子式複写)	以下10件、106頁から118頁まで連続頁。支那事変不拡大方針が破れたことを「面従腹背の徒にやられた」と回想する「近衛日記」記載の石原の言を挙げ、「面従腹背の徒」は「石原も含む日本人全体のナショナリズム」と述べる
	5	石原さんの思い出	牛島辰熊	昭和28年4月1日				活字(電子式複写)	
	6	回想の石原先生	毛呂清輝	昭和28年4月1日				活字(電子式複写)	
	7	小学校時代の石原さん	斎藤八蔵(山形県西田郡温海町長)	昭和28年4月1日				活字(電子式複写)	
	8	石原さん思い出すま	大田幸一(富山)	昭和28年4月1日		対ソ作戦決定後、松岡から、必要に応じて対ソ決戦をしなければならない場合の石原の意向を聞くよう言われたときの回想等		活字(電子式複写)	対ソ作戦決定後、松岡から、必要に応じて対ソ決戦をしなければならない場合の石原の意向を聞くよう言われたときの回想等
	9	卓抜な戦史	三笠宮崇仁	昭和28年4月1日				活字(電子式複写)	石原と一回会ったことあり、と記載される
	10	片鱗	矢内典夫(横浜)	昭和28年4月1日				活字(電子式複写)	
	11	死生流転	胡蘭成	昭和28年4月1日				活字(電子式複写)	

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
	12	石原莞爾氏に対する断想	山本勝之助	昭和28年4月1日		「東亜連盟の組織内容は国民組織で階級組織ではな」い等の記述あり		活字(電子式複写)	傍線書き込みあり。「東亜連盟の組織内容は国民組織で階級組織ではな」い等の記述あり
	13	執筆せざるの弁	田中久	昭和28年4月1日				活字(電子式複写)	
	14	石原将軍のおもかげを偲ぶ	小島玄之	昭和28年4月1日				活字(電子式複写)	
	15	群盲象を評す	鷲崎研太	昭和28年4月1日				活字(電子式複写)	以下8件、126頁から145頁まで連続頁(8件目は別記事)
	16	木乃伊(ミイラ)取りが木乃伊に	堀田政孝	昭和28年4月1日				活字(電子式複写)	
	17	活火山脈	佐藤正三	昭和28年4月1日		終戦の前年、岩手県花巻での同志会の全国協議会の席上、「同志会は政治運動に入るべき、よって石原顧問を総裁に推戴すべし」との緊急動議が提出されたが、石原は肯わなかった話を紹介。あくまで指導原理書の原則に従って運動していく考えだったので、と述べる		活字(電子式複写)	終戦の前年、岩手県花巻での同志会の全国協議会の席上、「同志会は政治運動に入るべき、よって石原顧問を総裁に推戴すべし」との緊急動議が提出されたが、石原は肯わなかった話を紹介。
	18	石原莞爾将軍の思い出	片岡駿	昭和28年4月1日				活字(電子式複写)	傍線書き込みあり
	19	アウトライン	平林盛人(元陸軍中将)	昭和28年4月1日		「彼の傾倒した古人と先輩」「石原と辻政信」「最終戦論満州建国の関連」等について		活字(電子式複写)	「彼の傾倒した古人と先輩」「石原と辻政信」「最終戦論満州建国の関連」等について
	20	御友情の思い出	池本喜三夫	昭和28年4月1日				活字(電子式複写)	

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
	21	石原将軍と語る	木村武雄	昭和28年4月1日		昭和14年1月頃、同志会の地方工作員相手に「今の翼賛政治会は政党ではなくてクラブ」、政党に不可欠の条件として「(一)理想、(二)政策、(三)理想と政策を実行する力」を挙げた石原の言葉を記載		活字(電子式複写)	昭和14年1月頃、同志会の地方工作員相手に「今の翼賛政治会は政党ではなくてクラブ」、政党に不可欠の条件として「(一)理想、(二)政策、(三)理想と政策を実行する力」を挙げた石原の言葉を記載
	22	石原さんの故郷に拾う逸材		昭和28年4月1日		横山義雄について		活字(電子式複写)	横山義雄について
422		昭和史を変えた幻の精鋭	島田俊彦	昭和39年8月	7枚	関東軍の誕生、満州事変と満州建国、関内進撃と関特演等について		活字(電子式複写)	ホチキス止め。「人物往来、39年8月号」と書き込みあり。「特集・関東軍の全貌」の一部。関東軍の誕生、満州事変と満州建国、関内進撃と関特演等について
423		満州を語り石原莞爾を憶う	伊木貞雄	昭和52年8月	9枚	昭和50年11月7日、旧満鉄社員総会における講演		活字(電子式複写)	ホチキス止め。「(最終戦争時代誌、52年8月号、第4巻4・5号合併号)」と書き込みあり。昭和50年11月7日、旧満鉄社員総会における講演
424		石原莞爾と満州建国	大宅壮一	昭和40年8月	3枚			活字(電子式複写)	ホチキス止め。「中央公論 40年8月号」と書き込みあり。「特集・近代日本を創った100人(軍人10人)」の一部
425		勇将と天才参謀	神田正種	昭和50年9月	1枚			活字(電子式複写)	2つ折。「史、50、9月 29号」と書き込みあり。「27頁下段へつづく」とあるが、後続なし。
426		柳条溝事件の真相		昭和41年3月	7枚	今村均(元陸軍中将)、片倉衷(元陸軍少将)、神田正種(元陸軍将)、鈴木貞一(元企画院総裁)、武内文彬(朝日新聞社社友)、竹下義晴(元陸軍中将)、田中隆吉(元陸軍少将)、中村菊男(慶応大学教授)、森島守人(元衆議院議員)、山口重次(元協和会中央事務局次長)		活字(電子式複写)	ホチキス止め。「(人物往来 41年3月号掲載)」と書き込みあり。「ドキュメント100年 No.10」今村均、片倉衷、神田正種、鈴木貞一、武内文彬、竹下義晴、田中隆吉、中村菊男、森島守人、山口重次への談話聞き取り。
427		『石原莞爾』雑話	及川六三四(東京新聞社・総務論説委員)	昭和29年4月1日	2枚			活字(電子式複写)	「(曙、29年4月1日、第三巻第四号)」と書き込みあり。傍線等書き込みあり
428		石原師団長の思い出	犬飼総一郎	昭和28年3月27日	4枚			手書(電子式複写)	タイトル下に「(思い出の記より)」とあり

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
429		安藤大尉の内面	芹沢紀之	昭和50年9月	1枚			活字(電子式複写)	「史、50、9月 29号」と書き込みあり
	1	二・二六事件と海軍 —加藤寛治大将への 疑惑—	大谷敬二郎 (元東部憲兵 隊司令官、 憲兵大佐)	昭和50年1月	2枚			活字(電子式複写)	「史、50、1月 27号」と書き込みあり。以下の記事と一緒にホチキス止め
	2	2・26事件と海軍	南部伸清	昭和43年3月	2枚			活字(電子式複写)	「史、43、3月 8号」と書き込みあり。傍線書き込みあり
431		歴史は贗造される	石原六娘	昭和45年6月	2枚			活字(電子式複写)	「史、45、6月、14号」と書き込みあり。傍線書き込みあり
	1	二・二六事件と石原莞爾	福留繁(元海軍中將)	昭和42年9月	3枚			タイプか(電子式複写)	「史、42、9月 7号」と書き込みあり。以下の記事と連続頁(5頁から8頁)。傍線書き込みあり
	2	私の石原莞爾	秋葉武雄(元共同通信政治部長)	昭和42年9月				タイプか(電子式複写)	
433		石原莞爾と林内閣	高木清寿(元報知新聞記者)	昭和43年7月	3枚			タイプか(電子式複写)	「史、43、7月、9号」と書き込みあり。傍線書き込みあり
434		随筆 天下一に定まらん	いわい・としお		3枚			手書(電子式複写)	「虎落笛26・1号」と書き込みあり
435		二月二十六日の雪	古田徳次郎	昭和45年6月	1枚			活字(電子式複写)	「史、45、6月 14号」と書き込みあり
436		二・二六のあとさき(上)	菅波三郎	昭和45年11月	1枚			活字(電子式複写)	「史、45、11月 15号」と書き込みあり
437		安藤大尉との接触	新井勲(元陸軍中將)	昭和47年8月	2枚			活字(電子式複写)	「史、47、8月、20号」と書き込みあり
438		石原と中野の間	中野泰雄(亜細亜大学教授)	昭和50年9月	3枚	東亜連盟と東方会について		活字(電子式複写)	「史、50、9月」と書き込みあり。東亜連盟と東方会について。
439		蹶起軍は叛徒だったか(上)	大谷敬二郎(元憲兵大佐)	昭和48年7月	3枚			活字(電子式複写)	「史、48、7月、23号」と書き込みあり。

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
440		観念のうちにあった 天皇―悲劇の二・二 六事件―	大谷敬二郎 (元東部憲兵 隊司令官・ 陸軍中将)	昭和46年8月	1枚			活字(電子式 複写)	「史、46、8月、17号」と書き込みあり
441		卑劣な軍首脳―二・ 二六事件の盲点(5)	新井勲(元陸 軍中尉)	昭和48年3月	2枚			活字(電子式 複写)	「史、48、3月 22号」と書き込みあり。
442		岡田なんかぶち斬る んだ	新井勲(元陸 軍中尉)	昭和47年4月	1枚			活字(電子式 複写)	「史、47、4月 19号」と書き込みあり
443		宇垣内閣流産の前後	秦彦三郎(遺 稿)	昭和41年3月	2枚			活字(電子式 複写)	「史、41年3月 3号」と書き込みあり
444		往年の将星たち	濱田尚友	昭和47年11月	3枚			活字(電子式 複写)	「史、47、11月 21号」と書き込みあり
445		石原莞爾の死と思想	白土菊枝	昭和50年9月	3枚			活字(電子式 複写)	「史、50、9月 29号」と書き込みあり
446		石原莞爾の世界観	田中新一(元 陸軍少将)	昭和40年2月	4枚			活字(電子式 複写)	「文春(昭40、2)」と書き込みあり
447		満鉄調査部 リベラリ ストから右翼までの 大物集団	岡田益吉(元 満州国情報 科長)	昭和45年9月18 日	2枚			活字(電子式 複写)	『週間読売』昭和45年9月18日号(特別号)「特別企画・ああ満州」
448		瀾頭の龍人―繆斌工 作の真相(1) [...]							
	1	瀾頭の龍人―繆斌工 作の真相(1)	(元小磯国昭 秘書)横山隼 三	昭和61年1月11 日	1綴 (1 頁)			活字(電子式 複写)	「協和新聞」掲載記事。以下同様
	2	瀾頭の龍人―繆斌工 作の真相(2)	(元小磯国昭 秘書)横山隼 三	昭和61年2月11 日	(1頁)			活字(電子式 複写)	
	3	瀾頭の龍人―繆斌工 作の真相(3)	(元小磯国昭 秘書)横山隼 三	昭和61年3月11 日	(2頁)			活字(電子式 複写)	
	4	瀾頭の龍人―繆斌工 作の真相(4)	(元小磯国昭 秘書)横山隼 三	昭和61年4月11 日	(2頁)			活字(電子式 複写)	

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料 番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
	5	瀾頭の龍人—繆斌工 作の真相(5)	(元小磯国昭 秘書)横山鍔 三	昭和61年5月11 日	(2頁)			活字(電子式 複写)	
	6	瀾頭の龍人—繆斌工 作の真相(6)	(元小磯国昭 秘書)横山鍔 三	昭和61年6月11 日	(2頁)			活字(電子式 複写)	
	7	瀾頭の龍人—繆斌工 作の真相(7)	(元小磯国昭 秘書)横山鍔 三	昭和61年7月11 日	(2頁)			活字(電子式 複写)	
	8	瀾頭の龍人—繆斌工 作の真相(8)	(日中現代史 研究会代表) 横山鍔三	昭和61年8月11 日	(2頁)			活字(電子式 複写)	
	9	瀾頭の龍人—繆斌工 作の真相(9)	(日中現代史 研究会代表) 横山鍔三	昭和61年9月11 日	(2頁)			活字(電子式 複写)	
	10	瀾頭の龍人—繆斌工 作の真相(10)	(日中現代史 研究会代表) 横山鍔三	昭和61年10月 11日	(2頁)			活字(電子式 複写)	
	11	瀾頭の龍人—繆斌工 作の真相(11)	(日中現代史 研究会代表) 横山鍔三	昭和61年11月 11日	(2頁)			活字(電子式 複写)	
	12	瀾頭の龍人—繆斌工 作の真相(12)	(日中現代史 研究会代表) 横山鍔三	昭和61年12月 11日	(2頁)			活字(電子式 複写)	
	13	瀾頭の龍人—繆斌工 作の真相(13)	(日中現代史 研究会代表) 横山鍔三	昭和62年1月11 日	(2頁)			活字(電子式 複写)	
	14	瀾頭の龍人—繆斌工 作の真相(14)	(日中現代史 研究会代表) 横山鍔三	昭和62年2月11 日	(2頁)			活字(電子式 複写)	
	15	瀾頭の龍人—繆斌工 作の真相(15)	(日中現代史 研究会代表) 横山鍔三	昭和62年3月11 日	(2頁)			活字(電子式 複写)	

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
	16	瀾頭の龍人－繆斌工作の真相(16)	(日中現代史研究会代表) 横山鏡三	昭和62年4月11日	(2頁)			活字(電子式複写)	
	17	瀾頭の龍人－繆斌工作の真相(17)	(日中現代史研究会代表) 横山鏡三	昭和62年5月11日	(2頁)			活字(電子式複写)	
	18	瀾頭の龍人－繆斌工作の真相(18)	(日中現代史研究会代表) 横山鏡三	昭和62年6月11日	(2頁)			活字(電子式複写)	
	19	瀾頭の龍人－繆斌工作の真相(19)	(日中現代史研究会代表) 横山鏡三	昭和62年7月11日	(2頁)			活字(電子式複写)	
	20	瀾頭の龍人－繆斌工作の真相(20)	(日中現代史研究会代表) 横山鏡三	昭和62年8月11日	(2頁)			活字(電子式複写)	
	21	瀾頭の龍人－繆斌工作の真相(21)	(日中現代史研究会代表) 横山鏡三	昭和62年9月11日	(2頁)			活字(電子式複写)	
	22	瀾頭の龍人－繆斌工作の真相(22)	(日中現代史研究会代表) 横山鏡三	昭和62年10月11日	(2頁)			活字(電子式複写)	
	23	瀾頭の龍人－繆斌工作の真相(23)	(日中現代史研究会代表) 横山鏡三	昭和62年11月11日	(2頁)			活字(電子式複写)	
	24	瀾頭の龍人－繆斌工作の真相(24)	(日中現代史研究会代表) 横山鏡三	昭和62年12月11日	(2頁)			活字(電子式複写)	
	25	繆斌さん40年忌とわれら(上)	近江鄧	昭和61年4月11日	(1頁)			活字(電子式複写)	
	26	繆斌さん40年忌とわれら(中)	近江鄧	昭和61年5月11日	(1頁)			活字(電子式複写)	
	27	繆斌さん40年忌とわれら(下)	近江鄧	昭和61年6月11日	(1頁)			活字(電子式複写)	

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
449		石原莞爾関係年表(上)	五百旗頭真	昭和46年7月1日	1冊(28項)		ファイル 1点 「東亜連盟同志会解散関係資料」とあり	活字	「政経論叢」第21巻第1号別刷
450		太平洋戦争開戦外交史並に原因・責任論に関する研究要項	/財団法人日本国際政治学会事務所		1冊(12頁)	「太平洋戦争開戦外交史並に原因・責任論の研究に関する特別研究部設立趣意書」日本国際政治学会理事長・神川彦松、「『太平洋戦争開戦外交史』についての我々の立場」田中直吉 内山正熊 角田順 細谷千博		活字	裏面に鉛筆で「石原莞爾 満州事変の戦争計画書 満州占有(領)計画書」とあり。神川彦松による設立主意書、田中直吉・内山正熊・角田順・細谷千博による立場表明
【淵上辰雄関係】									
451		記録 昭和二十一年	淵上辰雄	昭和21年	1冊	昭和十八年度会費納入一覧表、岩淵辰雄「敗れる日まで」批判新聞投稿関係、昭和二十一年度活動議録(1.25~2.27)等	ファイル 1点	ペン	昭和十八年度会費納入一覧表、岩淵辰雄「敗れる日まで」批判新聞投稿関係、昭和二十一年度活動議録(1.25~2.27)等
452		「声 評論家の良心」	淵上辰雄/朝日新聞社		1枚	岩淵辰雄「敗るゝ日まで」の石原論に対する批判		活字	朝日新聞の切抜。淵上の肩書きは「施肥技術研究者」
453		「石原中将の場合」	眞崎勝/朝日新聞社	昭和21年3月20日	1枚	淵上の岩淵批判に対する異議申し立て。		活字	朝日新聞の切抜。淵上の岩淵批判に対する異議申し立て。出典と経緯は『石原莞爾選集9巻』p303を参考
454		覚書			1枚			鉛筆	酵素についてのメモ。裏面にも書き入れあり

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料 番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
455		覚書			1枚	「一、今後ノ講習会ハ日本 体育食糧研究所デ主催スル 一、増産研究組合トノ関係 モアルノデ自分ハイン退ス ル 一、日本体育研究所ノ下 ニ私会、欣志会ナル技術ノ 階級ヲツクル・コレニ入ッ テモラ井タイ。一、ノ悪口 ヲ自分トシテハ今シバラク 言ハネバナラナ井。コレハ 自分ガ他ノ方面カラ注目サ レテイルカラ。一、外山氏 トノ問題ハ自分モ一度白紙 ニナルカラ、全テヲ忘レテ 講習ヲ受ケテモラ井タイ。 一、日本自給肥糧生産組合 ハ米ヲ出シテモラ井タシ。 コレガ一番必要デアル。研 究用ト又ハ皇族ノ帰農用」 とあり		ペン	「一、今後ノ講習会ハ日本体育食糧研究所デ主催スル」に始まる全 六か条。
456		覚書			3枚			鉛筆	「京都府立城丹実業学校 高橋武雄」との交渉模様。酵素関係・日本 酵素普及会の件など。
457		淵上辰雄宛書簡			1枚			ペン	宛先は推定、中央事務所の件。
458		淵上辰雄宛書簡	本堂喜一郎	昭和27年1月1日	1枚			墨書	年賀状
459		淵上辰雄宛書簡	宮崎正義	昭和27年1月1日	1枚			墨書	年賀状
460		高橋哲郎書簡 淵上辰 雄宛	高橋哲郎	昭和28年1月1日	1点			手書	年賀状
461		名刺			1枚			活字	「島根県松江興華寮幹事 朝倉慶一」とあり。
462		名刺			1枚			活字	「赤谷敏周」とあり。裏面にペンで五人の住所・氏名の書き入れあ り
463		名刺			1枚			ペン	「船嶋九十九」とあり。
【その他】									
464		河村食用菌研究所宛 支払書			1枚			手書謄写	未使用

東亜連盟関係資料(淵上辰雄関係)目録

資料 番号	枝番 1	タイトル	作成者	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考
465		新株式募集御案内	/東北椎茸商 行取締役社 長	昭和30年1月25 日	1枚	新株式募集要項		手書謄写	新株式募集要項
466		これからどう闘うか		昭和35年6月	1枚			手書謄写	年代は内容から。安保に反対する立場からのアジビラ
467		畜舎での日々	竹中順一		1枚			活字(電子式 複写)	掲載誌不明